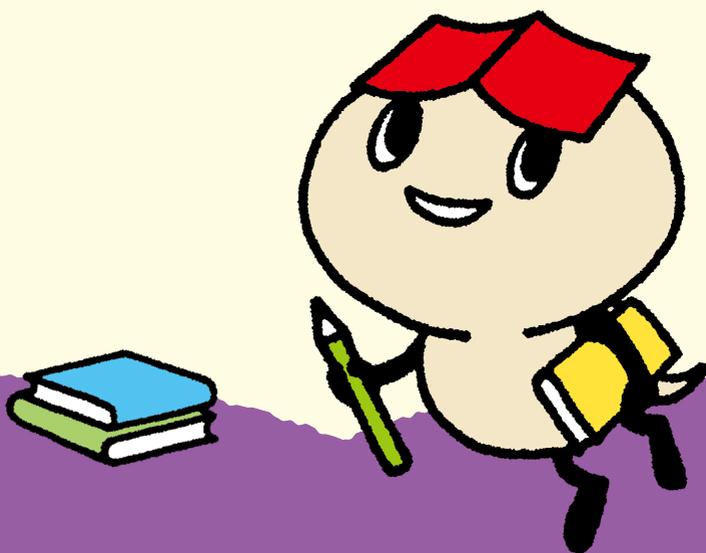


第5回

お気に入りの一冊を  
あなたへ

読書推せん文コンクール



令和7(2025)年度  
入賞作品集

第5回

お気に入りの一冊を  
あなたへ

読書推せん文コンクール

令和7(2025)年度  
入賞作品集

公益財団法人 博報堂教育財団

Hakuhodo Foundation

## 目次

ごあいさつ	公益財団法人博報堂教育財団理事長 戸田裕一	4
選考委員からのメッセージ		6
個人賞入賞作	■ 小学校1～3年生の部	11
個人賞入賞作	■ 小学校4～6年生の部	39
個人賞入賞作	■ 中学生の部	71
団体賞	入賞団体一覧	134
個人賞	入賞者一覧	136
コンクール概要と応募総数		138





児童文学作家

久米 絵美里



「大人のせいで、子どもたちに気を遣わせる時代になってしまっている」。今年は、そう感じる作品が多く、胸をしめつけられました。一方で、「私もその本、好き!」と、読書友だちに出会えたような純粋な喜びも多くいただきました。かつて私が夢中になった本を、今の子どもたちも楽しんでいる。そのことに、文学の「時代も世代も越える力」の真髄を感じ、うれしくなりました。読書推せん文は、過去にも未来にも思いを届けられる言葉のタイムマシーンで、時代を保存する言葉の博物館でもある。子どもたちがよい時代を保存できるよう、大人も背筋を正さなければならぬと感じた選考でした。すてきな作品との出会いを、ありがとうございます。



文筆家・元書店員

大塚 真祐子



「読んでほしい人を思い浮かべ、その人に向けて書く」という、このコンクールの目的の重要性をあらためて心に刻みながら、みなさんの推せん文を読みすすめました。子どものころの私は好きな本について、誰かに話すことなどほとんどなかったですし、自分の好きな本を誰にも教えたくないという感情があることも知っています。それも間違いじゃない。それでもこの本のよさを誰かに伝えたい、というこのコンクールの意義を、みなさんの大切な推せん文をとおして考えながら、推せんされた相手以外がその文章を読んでも、紹介された本を読みたくなくなるくらいの強い気持ちが伝わってくるかどうか、というのを、私は今回の選考のポイントの一つにしました。



安田女子大学 文学部教授

大滝 一登



「読書推せん文」のコンセプトが回を追うごとに浸透してきたと感じています。今年も子どもたちの生き生きした本との出会いやご家族や友だち、人との触れ合いを通じて抱いた素直な思いを感じられる作品が多くみられました。選考では、「本にどの程度感化されたか」がはっきり分かることを重視しました。具体的には、本に触発され、感じたり考えたりした内容が素直にかつ深く書かれているか、家族や先生など身近な存在を含めた人間関係や社会とのつながりなどが十分意識されているか、読み手であり書き手でもある「その人らしさ」が作品に生きているかという点です。本の内容を理解した上で昇華し、独自性やアピールの工夫を伴って書かれているかも評価の対象にしました。



広島大学大学院  
人間社会科学研究所・教育学部教授

## 山元 隆春

選考委員長



読みたくなるだけでなく、「言葉を返したくなる」作品を選考しました。想定する相手以外の読者に訴えかけてくる作品が多く、文章力も上がっていると感じています。身近な人々に向けられた小学生の作品では、思いがストレートにあらわれていて微笑ましく、高学年や中学生ではある特徴を持った人向けの作品が多くなっていました。社会で働いている人を子どもがどう見ているのかということが伝わる作品も多かったです。高学年の文章には想定する読み手に幅があり、中学生になると想定する読み手の多様性はさらに広がります。とても素晴らしいことです。自分の想いや考えを誰かと共有しようとする意思の感じられる文章が多く、読んでいて面白かったです。学年が上がるにつれて、読んだ本についての自分の想いをこの世界を生きている誰かに伝えたいという意識が つよくなっています。自分の想いを誰かに伝えることが新しい自己を生み出すことに繋がっています。



作家・コラムニスト

## ひきた よしあき



この本を読んで、私の考えや行動がこのように変わったので、あの人に薦めたい。という点が明確な作品を選びました。また、「お父さんがものをよく失くすのは、ものを大切にしていないからだよ」「小さい『好き』を集めよう」など、大人でもハッとしてみたいような一文を書いている作品も評価しました。今年は、社会に対して疑問を持つ作品も多かった。それに立ち向かうのではなく、安堵を求めたり、「一息いれたい」という本音を漏らす作品が多いように感じられました。時代の空気を色濃く反映しています。生成AIやネットでの「解釈動画」が流行する中、あくまで肉筆のオリジナリティを感じる作品を選びました。今年も名作が並びました。



公益財団法人 博報堂教育財団 常務理事

## 中馬 淳



「すすめたい相手、すすめる本、どうすすめるのか」という三角形がしっかりと繋がっている作品を選考の基準にしました。すすめる本の紹介はみなさんしっかり書けているのですが、すすめたい相手やすすすめたい理由があまりはつきりしない、といった点で惜しい作品もたくさんありました。一方、これまでと比べて、文章がさらに上手になった感じがします。これまで中学生が書いていたような作品を小学校高学年が書いているなど、部門がひとつずつ繰り上がった感じすら持ちました。読書推せん文に慣れてきたからかもしれません。でも最後は、文章の巧拙もさることながら、書き手の想いがあふれている、強い気持ちを持っているなど、自分に訴えかけてくる作品に、私は惹かれました。



慶應義塾大学 教職課程センター教授

## 佐久間 亜紀



今年は、社会の多くの人に宛てて自分の思いや考えを届けたいという気持ちが詰まった作品が増えていると感じました。子どもたちの前向きな思いは、まさに日本の希望です。おすすめしたい相手をしっかりイメージして書かれている作品が多くなり、おすすめ文を書くことにどんな意味があるのかを、理解してくださいの方が増えているようで、嬉しいです。また、文章として練り上げられた作品が増えた一方で、文章が荒削りでも書き手のオリジナルな思いが詰まった作品も多く、どちらにも大きな魅力があります。選考基準としては「メッセージを返したくなる作品」を軸に選びました。書き手が作品を媒介しておすすめしたい人に宛てた言葉は、読み手である私たちにも響いてきます。書き手の思いが私の胸に迫ってくる作品には、私も私の思いを伝えたくります。

# 小学校 1～3年生の部



作品は入賞者の居住地の都道府県コード順、同一都道府県内は氏名の五十音順に掲載し、入賞者の敬称は略しました。

## 『学研わくわく観察図鑑』

# アサガオ

おすすめの  
相手

くらすのおともだち

高木 暖斗 (栃木県)

真岡市立山前小学校1年生



『学研わくわく観察図鑑 アサガオ』  
米田芳秋／監修  
Gakken

ぼくは、アサガオがだいすきです。たくさん  
のいろのはながさくし、いっぱいさいてくれる  
ので、うれしいきもちになるからです。ぼくは、  
いっしょうけんめい、おみずをあげて、おはな  
のかずをかぞえました。みんながおどろくこと  
がおきました。ぼくは、アサガオとおはなしで  
きるようになりました。ぼくは、アサガオくん  
をもっとしりたくて、このほんをみました。こ  
のほんには、みたことのないきれいなはなのし  
やしんがのついているところがおすすめです。ほ  
んをみながらいろいろみずづくりや、おしぼなにち  
ようせんしました。とてもたのしかったから、み  
んなにもやってもらいたいとおもいました。

## 『あすはきつと』

おすすめの  
相手

おばあちゃん

井野 愛莉咲 (埼玉県)

川越市立中央小学校1年生



『あすはきつと』  
ドリス・シュワーリン／文  
カレン・ガンダーシーマー／絵  
木島始／訳  
童話館出版

わたしは、『あすはきつと』というほんをい  
つしょにくらしていいいおばあちゃんにすすめ  
たいです。りゆうは、わたしのまいにちをきち  
んとつたえられて、あんしんしてもらえるとお  
もったからです。ほんのなかで、「あすはきつと、  
なにかをすっかりじぶんだけでやれるようにな  
る」というところがあって、そこがわたしのま  
いにちにそっくりだとおもいました。わたしも  
じがうまくかけるようになったり、けいさんも  
できるようになってきたり、あたらしくじぶん  
でできるようになったことがたくさんあります。  
そうやっていろんなことにチャレンジしている  
ことをつたえたら、おばあちゃんがうれしいき  
もちになって、あんしんしてくれるとおもいま  
した。



# 『ふわふわくもパン』

すすめたい  
相手 大すきなおじいちゃん

江田 怜加 (埼玉県)

草加市立両新田小学校2年生



『ふわふわくもパン』  
ベク・ヒナ/文・絵 キム・ヒャンス/写真  
星あキラ、キム・ヨンジュン/共訳  
小学館

この本は、ねこのきょうだいですが、食べた空をとべるくもパンを、おとうさんとどけるお話です。

わたしは、とおくにすんでいて、さい近車いすになったおじいちゃんと、いっしょにくもパンを食べて空のたびをしたいです。

まずは、車いすで行くのが大へんと言っていたところやさんへ。かみをかっこよくしてあげたいです。つぎに、海の上をカモメのようにスーッととんでみたいです。太ようでキラキラ光る海を見たら、「うわあ。」と大よろこびしてくれると思います。そして、ふわふわの雲の上にねころんで、「あれがわたしの小学校だよ。」と教えてあげたり、友だちの話をたくさんしてあげたいです。おじいちゃん、いっしょにわくわくしようね。

# 『せかいいちのねこ』

すすめたい  
相手 だれかがうらやましいひと

岡田 笑佳 (東京都)

東洋英和女学院小学部1年生



『せかいいちのねこ』  
ヒグチユウコ/絵・文  
白泉社

しゅじんこのニャンコはねこのぬいぐるみだけど、ほんもののねこにაცოგაれている。ほんもののねこになるためにひげあつめのたびにで、いろいろなねこさんたちにあう。たくさんねこさんたちにたすけられて、ニャンコもじぶんがそのままでもとつてもあいされられていることにきづく。みんなかんぺきじゃないけれど、みんなせかいいちのすてきなねこ。

わたしも、いえでかっているねこをみていて、「じゆうなねこになりたいな。」

とおもっていた。でもわたしでいるのもわるくないかも。だって、だいすきなかぞくやおともだちやせんせいがついて、みんなにあいされられているから。このほんをよんでそうおもった。



# 『いのちを まもる図鑑』

最強のピンチ脱出マニュアル』

おすすめの  
相手 パパ

沖崎杏南 (東京都)

LCA 国際小学校3年生



『いのちをまもる図鑑  
最強のピンチ脱出マニュアル』  
池上彰、今泉忠明、国崎信江、西竜一／監修  
滝乃みわこ／著  
ダイヤモンド社

私は電車で学校に通っているからこの本を読んではんざいにあわないように気をつけています。わるい大人が話しかけてくるさそいもよくを読んだり、8人のりの車を見つけたら近よらないようにしています。

パパは、かみの毛がなくて体が大きいからほかの子どもが見たらふしんしゃだと思われなにか心ばいです。パパのお気に入りのデリカはまどガラスが黒くて中が見えないから本の中の車とそっくりです。パパは、方こうおんちだから同じところを回ってしまいます。あとをつけているとかんちがいされたらこまるからこの本を読んで気をつけてね。

# 『あやちゃん のうまれたひ』

おすすめの  
相手 ちよつと元気をなくした  
お友だちへ

齋藤美寧 (東京都)

昭和女子大学附属昭和小学校3年生



『あやちゃんのうまれたひ』  
浜田桂子／作・絵  
福音館書店

わたしは、お母さんのおなかにいたころの話聞くのが大すきです。おなかの中にいた時からわたしを大切に思ってくれていた気持ちがつたわって、とてもうれしいからです。この本は、そんなわたしに、お母さんがプレゼントしてくれました。

わたしは、ちよつと元気がない時にこの本を読みます。なぜかという、家ぞくみんながあやちゃんが生まれてくることをとても楽しみにしている様子がつたわってくるので、心がじんわり温かくなってきて元気が出るからです。そして、生まれてきてよかったなという気持ちになります。

ちよつと元気が出ないお友だちは、心がぼかぼかするので、ぜひこの本を読んでみてください。



# 『まっかつかトマト』

おすすめの  
相手 二年三組のみんな

篠田実杏（東京都）

昭和女子大学附属昭和小学校2年生



『まっかつかトマト』  
いわさゆうこ／さく  
童心社

わたしたちは、一学きに学校でトマトをそだてたね。この本は、絵がほんものそっくりだから、せいちょうのようすが分かりやすいよ。わたしはこの本を読んでこんなはっ見をしたよ。トマトの実がみどり色から赤くそだつ前に一ど白くなること。いろいろな形や色のトマトがあること。ぜんぶのトマトにはおへそがついていること。中でも一ばんおどろいたのは「もたろう」という名前のトマトがあることだよ。この本を読むと、毎日トマトをかんさつするのがもっと楽しくなるよ。そして、「ああ早くトマトを食べたいな。」と思うよ。だからわたしはこの本をクラスのみんなにおすすめします。

# 『オオカミ王ロボ』

おすすめの  
相手 昭和小学校の  
1年生（Aくん）

田村慧悟（東京都）

昭和女子大学附属昭和小学校2年生



『10歳までに読みたい世界名作 08巻  
シートン動物記 オオカミ王ロボ』  
アーネスト・トンプソン・シートン／作  
千葉茂樹／編・訳 横山洋子／監修 姫川明／絵  
Gakken

ロボはね、オオカミのリーダーで、とても頭がよく、なかまをまもる、ゆうかんで強いんだ。王さまといっても、ふんざりかえっていばっているわけではないんだ。なかまたちに、きけんなわなを教えたり、えものをとる時だつてちゃんとマナーも教えるんだ。さいしょは、人間の大切な家ちくをねらうので、わるいやつだと思つたけど、だんだんロボのかつこよさにむちゆうになつたよ。オオカミたちのみかたをしたくなつたんだ。人間とロボのちえくらべだ。ロボがんばれ！でもね、さいごの話はひみつ。どうしてもいいたくないんだ。だれが、わるいの？なぜ？なぜ？心の中が、ゾワゾワするんだ。読んだ人は、ぜつたいロボのとりこになるよ。



『やさしく読めるビジュアル伝記 5巻

# ナイチンゲール

おすすめ  
相手  
勉強するりゆうが  
分からない人

堤杏華 (東京都)  
日本女子大学附属豊明小学校2年生



『やさしく読める ビジュアル伝記 5巻  
ナイチンゲール』  
高橋うらら/文 朝日川日和/絵  
和住淑子、山本利江/監修  
Gakken

わたしのゆめはチャダンスの先生になること  
です。たまにチャダンスの先生になるのにこの  
勉強はひつようかな？と考えることがあります。  
勉強よりもダンスのれん習をするほうが、ゆめ  
に近づけるような気がするからです。でも、こ  
の本を読んで考えがわかりました。ナイチンゲ  
ールはかんごしですが、当時女せいにひつよう  
ないと言われていた勉強を子どものころにたく  
さんしていました。そのおかげで外国の病院を  
手伝いに行く時につうやくをしたり、自分がけ  
いけんしたことを数学をつかい分かりやすくま  
とめたりして人のやくに立つことができました。  
勉強するりゆうが分からない時、できることが  
ふえるかも！と前むきな気もちにしてくれる本  
です。

# 『なつのおとずれ』

おすすめ  
相手  
未来の自分と自分の子ども

廣末葵士 (東京都)  
港区立赤坂小学校2年生



『なつのおとずれ』  
かがくいひろし/作・絵  
PHP 研究所

もし、このまま変な天気が続いて『なつのお  
とずれ』の本にあるような、ふつうの夏が来な  
くなったら、ぼくは忘れてしまうのかな。  
夏休み、おばあちゃんの家でクマゼミをつか  
まえたこと。にわで食べたあまいスイカ。おば  
あちゃんがもつて来てくれたかとり線香のにお  
い。たたみにごろんとして聞く、せん風機のブ  
ーンという音。この本にある日本の夏、全部。  
四十度の日が続いたり、どしゃぶりで川がは  
らんしたり。変な天気がふつうの天気になっ  
てきた。いつか、この本にかかれています梅雨も  
野菜も果物も昆虫もきちょうになるかもしれな  
い。ぼくは日本の夏の風けいを守り続けるため  
に、未来の自分と自分の子どもにすすめたい。  
ずっと地球を大切に！



# 『慣用句大百科』

おすすめの  
相手 クラスの友だち

藤井晏 (東京都)

サレジアン国際学園目黒星美小学校3年生



『慣用句大百科』  
深谷圭助／監修  
成美堂出版

わたしは四苦八苦しながら、今このすいせん文を書いています。

わたしはかん用句やことわざがすきです。短い言葉の中に、お話がこめられているところが面白いと思います。この本の中では、アイドルになってドーム公えんをする女の子たちのまんがの中にたくさんのかん用句が出てきて、自然にかん用句をおぼえてしまうところが気に入っています。とくにわたしは、ヒマリという主人公がドーム公えんを目ざせると知って、はとが豆でつぼうを食ったような顔をするシーンがすきです。かん用句を知っていると、こまった時にかいけつさくや元気をもらえることをみんなに伝えたいです。

百聞は一見にしかず、ぜひ読んでみてください。

# 『だいすき ぎゅっぎゅっ』

おすすめの  
相手 うまれてくるおとうとへ

成田穰 (神奈川県)

鎌倉市立七里ガ浜小学校1年生



『だいすきぎゅっぎゅっ』  
フィリス・ゲイシャイトー、ミム・グリーン／ぶん  
デイヴィッド・ウォーカー／え 福本友美子／やく  
岩崎書店

ぼくのおかあさんのおなかの中に、赤ちゃんがいます。九月に、ぼくはおにいちゃんになります。赤ちゃんは男の子だとわかりました。おとうとにすめたいこの本は、ぼくが赤ちゃんのころから、きょうまでおかあさんに、一ばんたくさんよんでもらっている大好きな本です。おはなしの中でうさぎのおや子が、「だいすきぎゅっぎゅっ」とするところで、ぼくもおかあさんとぎゅーとします。それがぼくをとつてもうれしい気もちにしてくれます。おかあさんはおとうとにも、きつとまいにちよんでくれます。おとうとをぎゅっとするおかあさんのうしろから、ぼくがぎゅっとします。あえるのたのしみになっているよ。いろいろなこと、おしえてあげるね。



# 『あなたがとってもかわいい』

おすすめの  
相手 おかあさん

井本 颯汰 (福井県)  
おおい町立大島小学校2年生



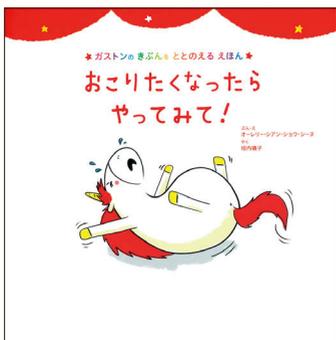
『あなたがとってもかわいい』  
みやにしたつや／作・絵  
金の星社

ぼくが小さい時、おかあさんは「かわいい。」  
っていつてくれたね。でも、このごろは、ぼく  
をおこってばかりで、「かわいい。」といつて  
くれなくなったね。ぼくが、わるいことばかり  
するからなんだけど。この本のおかあさんは、  
よだれをたらしても、はなをたらしても、どん  
な顔でも「あなたがかわいい。」といつてくれて  
いるよ。そして、それは大きくなっても、これ  
からもずっとかわらないんだって。そのわけは、  
いつまでもあなたのおかあさんだからなんだっ  
て。ぼくは、おかあさんが大好きだよ。これか  
らもずうっと大好きだよ。おかあさんは、今で  
もぼくのことかわいいと思う？ また、ぼくの  
ことを「かわいい。」っていつてほしいな。

# 『おこりたくなったら やってみて!』

おすすめの  
相手 イライラするぼく

松葉 斗稀 (福井県)  
おおい町立大島小学校2年生



『おこりたくなったら やってみて!』  
オーレリー・シアン・ショウ・シーヌ／文・絵  
垣内磯子／訳  
主婦の友社

ガストンはすごいな。だって、まほうのたて  
がみをもっているから。そのたてがみは、気分  
によって色が変わる。こんなたてがみをもって  
たらとてもべんりだよ。ぼくは、すぐイライ  
ラしておこってしまう。そして、すねて、さい  
ごには大きな声で泣いてしまうことが多い。で  
も、はらがたつたとき、いきのしかたで、イラ  
イラをおい出せることがわかった。目をつぶっ  
ていきをゆっくりこむ。これを三回する。  
これがわかったから、おかあさんや友達にな  
ぐさめてもらわなくても、おもしろいテレビを  
みなくても、おやつをやけぐいしなくても、自  
分の力でおい出せるぞ。よし、こんどからイラ  
イラしたら、このほうほうをつかってみるぞ。



# 『いのちを まもる図鑑 最強のピンチ脱出マニュアル』

おすすめ  
相手 きけんから  
いのちを守りたい人

高田 昊太郎 (静岡県)  
静岡市立長田西小学校3年生



『いのちをまもる図鑑  
最強のピンチ脱出マニュアル』  
池上彰、今泉忠明、国崎信江、西竜一／監修  
滝乃みわこ／著  
ダイヤモンド社

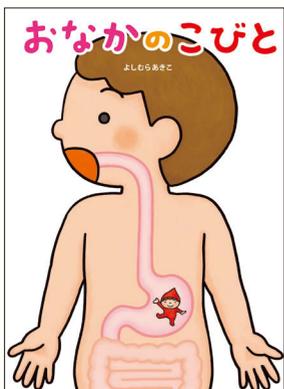
学校からの帰り道。急に目の前が見えないほどのほげしい雨がふり出し、ゴロゴロとカミナリが鳴った。ぼくは、とにかく家まで行かなくちゃ、とずぶぬれになりながら一生けん命歩いた。とてもこわかった。

だれでも生きていればきけんな出来事に出あうかもしれない。世の中にはどんなきけんがあるかを知り、いのちを守るためにはどうすればよいのか考え行動できる力がひつようだ。ぼくは、この本を読んでからカミナリが鳴ったら近くの鉄きんコンクリートのたて物の中に入るようになった。大雨からのひなんについての知しきもばっちりだ。知しきがあれば、行動できる。みんなでこの本を読んで、きけんからのちを守ろう。

# 『おなかのこびと』

おすすめ  
相手 いうんちを  
だしたいひと

松下 果鈴 (大阪府)  
学童保育施設びつぐふあみりー1年生



『おなかのこびと』  
よしむらあきこ／作・絵  
教育画劇

あなたはいいうんちをだすひみつをしっていますか。うんちはくさいからいやだとおもうひとがおおいですが、からだのちようしをおしえてくれるたいせつなものなんです。みんなのおなかのなかにはじぶんとそっくりのかわいいちいさなこびとがすんでいて、いうんちをだすてだすけをしてくれているんです。すききらいはしていませんか。よくかんでいますか。クラーのきいたへやおなかをだしてねていませんか。きをつけないと、おへそからこびとができてしまいますよ。いうんちをだしたいひとは、こびとのことをよくきいてくださいね。



『知れば知るほど』

# お相撲ことば

おすすめの  
相手 相撲を知らない人へ

片山友梨子（兵庫県）  
神戸市立蓮池小学校3年生



『こどもたちと楽しむ 知れば知るほど  
お相撲ことば』  
「おすもうさん」編集部／編著  
大山進、神永暁／監修  
ベースボール・マガジン社

私は相撲を見るのが大好きです。もっと相撲のことを知りたくてこの本を読んでみました。相撲言葉なんて聞いたことがない？ そんなこととはないです。私はお父さんによく「揚げ足ばかり取るなあ」と言われます。これは「足を取る」という相撲言葉からきています。

私の好きな力士の得意技の「肩透かし」や「仕切り直し」も今でもよく使われている言葉です。これも元々は相撲言葉です。こんな風にも使っている言葉はたくさんあります。おもしろいと思った人は、この本でもっと調べてみてください。

私が一番びっくりした言葉は、「土左衛門」です。ちよつとかわいそうな意味でした。イラストもびつくりしました。

# 『ごきぶり』

おすすめの  
相手 ごきぶりがこわいみんなへ

木村誠一（広島県）  
英数学館小学校2年生



『ごきぶり  
かがくのとも 188号 11月号』  
奥井一満／ぶん 松岡達英／え  
福音館書店

ぼくは、ごきぶりが大きらいだ。気もちわるいし、はしってきたときは、こわくてにげる。たぶん、みんなもそうだと思う。だから、ママがこの本をかりてきたときは、すごくいやだった。

でも、この本を読んでみたら、ごきぶりがこわくなくなつた。ごきぶりについて知らないことがたくさん書いてあって、ほんとうはわるいことをしていない、かわいそうな虫だつてわかつたからだよ。

読んでもきらいなままだけど、ちょびつとだけやさしくしてあげようかな。パパに1回だけたたくのをやめてあげてって言おうかなって思うようになる本なんだ。

ぼくみたいにごきぶりがきらいなみんなも、おなじ気もちになるか読んでみてほしいな。



# 『あっちゃんのはたけ はたけ』

おすすめの  
相手

やさいがきらいなあなたへ

藤田 和子 (広島県)  
英数学館小学校3年生



『あっちゃんのはたけ』  
大西ひろみ/作・絵  
ひさかたチャイルド

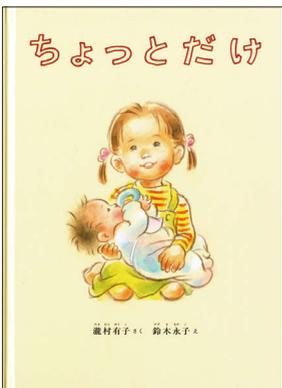
「やさいがきらいな人、読まなきゃそん!!」  
この本を読んで、わたしの考えがガラッとかわりました。あっちゃんは毎日、畑でやさいを育てることに一生けんめいで、その気持ちがいさいつたわって、どんどんおいしく育っていきます。あっちゃんの花顔が、やさいにもつたわっているみたい。わたしは、やさいが苦手だったけど、この本を読んで、「やさいってこんながんばって育てられているんだ!!」と思って、がんばって食べてみようって気持ちがあわてきました。もし、やさいが苦手なあなたが読んだら、きっと「次はちよつとだけ食べてみようかな？」って思えるようになるはず。

# 『ちよつとだけ』

おすすめの  
相手

いもうと(こっちゃん)

森 泰里 (広島県)  
広島大学附属小学校2年生



『ちよつとだけ』  
瀧村有子/さく 鈴木永子/え  
福音館書店

この本は、ぼくがおにいちゃんになる時にばあばからもらった本だよ。こんどはもうすぐおねえちゃんになるこっちゃんへおくるね。  
この本は、なっちゃんという女の子がおねえちゃんになった時のお話だよ。  
こっちゃんが、なっちゃんがおかあさんにだっこしてもらっているばめんをよむと、赤ちゃんが生まれると、あまりわがままは言えなくなるけれど、ママはこっちゃんのことをかわらざるすきだということが、きつと分かると思うよ。そうしたら、三人きょうだいになるのがもつたのしみになるはず。  
赤ちゃんが生まれて、さみしい時があったら、ぼくがたくさん本をよんでわらわらせてあげるから、何でも言ってね。



# 『窓をひろげて 考えよう』

おすすめの  
相手 テレビや、ネットニュースや  
SNSを見る人へ

山田実和（香川県）  
坂出市立金山小学校2年生



『窓をひろげて考えよう』  
体験! メディアリテラシー  
下村健一／著 舩場よしみ／企画・構成  
かもがわ出版

この本はね、小さなまどのあながあいているよ。まどのむこうは「クマが出た。」ってニュースをしてるけど、つぎのページをめくると、クマがたくさんすんでる中に「人間が出た!。」って、クマはこわがってたよ。わたしもクマが出たっていうニュースをよく見るけど、本当はクマも人間がこわくてビックリしてるのかもしれないと思っただよ。この本は、小さなまどからは少ししか見えないけど、つぎのページにはぜんぜんちがうせかいがひろがっていて、そこだけを見ないで、ひろいせかいを見ることを教えてくれたよ。まどのつぎのページはどんなせかいがひろがってるのかな? ってめくるのがたのしい本だよ。

# 『10分で読める 発明・発見を した人の伝記』

おすすめの  
相手 いつも「やめときな」と  
心配するお母さんへ

宮本桃吏（愛媛県）  
愛媛大学教育学部附属小学校3年生



『10分で読める  
発明・発見をした人の伝記』  
塩谷京子／監修  
Gakken

お母さんはとっても心配性だよ。ぼくがケガをしたらいけないから、家の中でさか立ちの練習はしたらダメって言うし、油がはねたらあぶないから、からあげはお母さんが揚げるねって言うもんね。でもねお母さん、ぼくはなんでも一人でやってみたいんだ。この本に出てくる偉人たちの言葉を知ってほしい。こうき心は止めちゃダメなんだって! 自分の気持ちと直感にしたがって行動するべきなんだって! 成功するためには、一万通りの失敗をしてもいいんだって! かぎりある時間をむだにしないように、ぼくはなんだって挑戦するよ。見ててよ、お母さん。ぼくは未来のエジソンでアインシュタインでビル・ゲイツにだってなれるんだ!!!



# 『しんでくれた』

すすめたい  
相手 すききらいがある人

平岡幸大 (高知県)

中土佐町立大野見小学校2年生



『しんでくれた』

谷川俊太郎／詩 塚本やすし／絵  
佼成出版社

ぼくは、この本がぼくのおかあさんにてい  
るなと思いました。それは、おかあさんも牛を  
そだてるしごとをしていて、まい日ミルクやえ  
さよの草をあげているからです。ぼくも時ど  
き手つだいに行くけど、ミルクをあげると「モ  
ー。」となくのが、「ありがとう。」と言っている  
のかなと思います。牛がお肉になる時、ちよっ  
とかわいそうになります。

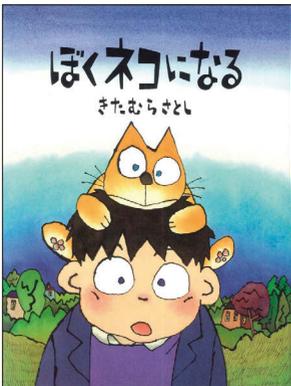
すききらいをする人は、牛やぶたにかんしゃ  
してたべてほしいです。牛は、ぼくたちが生き  
るために、しかたなくしんでくれているからです。  
この本を、すききらいがある人に読んでもらっ  
て、しんでくれた牛やぶたやニワトリやさかな  
をがんばってたべてほしいです。

# 『ぼくネコになる』

すすめたい  
相手 ほけんしつの先生  
(ネコずき)

那須虎ノ助 (宮崎県)

椎葉村立不土野小学校2年生



『ぼくネコになる』  
きたむらさとし／作  
小峰書店

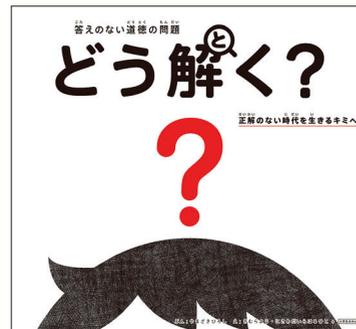
ぼくの学校のほけんしつの先生は、めっちゃく  
ちやネコがすきです。そんな先生におすすめの  
本を見つけました。なんと、しゅじんこうの男  
の子が、じぶんの家でかっているネコとそつく  
りそのままいれかわってしまったのです。ネコ  
になってしまった男の子は、学校にいかなくて  
いいことをよろこんだり、高いところにとびう  
つたりしてネコのくらしをたのしんでいます。  
とくにネコずきでもないぼくもいいなあ、う  
らやましいなあ、と思ったので、ネコ大すきの  
先生だったらどういうかんじなのがとても気  
になります。だから、ぼくはこの本を読んでも  
らって聞きたいです。「先生、ネコになってみた  
いですか。」



## 『どう解く?』

おすすめの相手  
なぜいつも思っている人

井村紀助 (鹿児島県)  
西之表市立伊関小学校3年生



『答えのない道德の問題 どう解く?』  
正解のない時代を生きるキミへ』  
やまざきひろし/文  
きむらよう、にさわだいらはるひと/絵  
ポプラ社

けんかをするといつも先生におこられますね。でも、国と国のけんかは、どうしておこられないんだろう。

この本は、答えのない道とくの問題がたくさんかかれています。

ぼくは、せんそうをしたくありません。ですが、せんそうをしたい人が多かったり、力の強い人がせんそうをすると決めたからさからえなかつたのだと思います。ぼくはなにができるだろうと考え、小さなけんかをしなないようにしたいと思います。人数が多いほうが正しいってどう思いますか。いけんは、そもそも多数けつで、正しいいけんを決めるものじゃないと思います。ぼくは、この本を読んで、いろいろ考えることができました。なぜ?をすつきりさせましょう。

## 『うみのかくれんぼ』

おすすめの相手  
おかあさん

金城花音 (沖縄県)  
石垣市立石垣小学校1年生

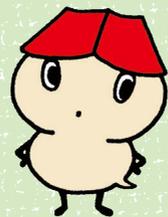


『うみのかくれんぼ』  
サンシャイン水族館/監修  
ネイチャー・プロダクションほか/写真提供  
ひさかたチャイルド

わたしは、おかあさんにこのほんをおすすめします。ページをひらくたびに、いろんなうみのいきものがでてきて、かくれんぼをしているのがとてもたのしいからです。さかなやえびやかにさんたちが、うみにじょうずにかくれているのをさがすと、わたしもうみのなかにあそびにいったみたいでたのしいです。おかあさんともいっしょにうみのいきものをさがしてみたいです。ふたりでよんだらもつとたのしいとおもいます。おかあさんは、13ページのおさかなはみつけれないとおもいます。わたしもみつけられませんでした。また、おかあさんにおすすめしたいほんをみつけるね。これからもういっしょにたくさんほんをよもうね。おかあさん、だいすきだよ。



# 小学校 4～6年生の部



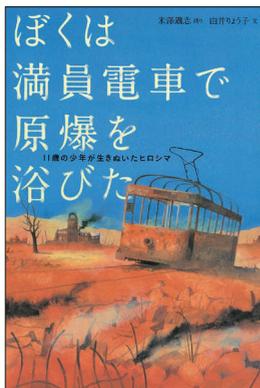
作品は入賞者の居住地の都道府県コード順、同一都道府県内は氏名の五十音順に掲載し、入賞者の敬称は略しました。

# 『ぼくは満員電車で原爆を浴びた』

おすすめの  
相手 戦争を知らない小学生へ

宿院一之助（北海道）

札幌市立山の手南小学校5年生



『ぼくは満員電車で原爆を浴びた』  
11歳の少年が生きぬいたヒロシマ  
米澤鐵志／語り 由井りょう子／文  
小学館

僕はこの本で原爆の恐ろしさを知った。被爆にあったのは僕と同じ十一歳、小学五年生の少年だ。その少年は電車で原爆を浴びた。なんとか生き残ったが被爆者となった。また身体の苦しみだけでなく、戦争で見た光景により心も長い間苦しめられた。

僕にはまだやりたい事がたくさんある。ピアノだって上達したいしバスケット仲間ともたくさんしたい。この少年にもまだやりたい事がたくさんあったはずだ。一瞬で未来を奪う原爆はなんて恐ろしいのだろう。この本は正直言って怖い目を背けずに読んでほしい。そして戦争によって希望を失った少年がいたことを知ってほしい。

# 『星座と神話大じてん』

おすすめの  
相手 お母さん

土井ひなこ（宮城県）

東松島市立矢本東小学校5年生



『星座と神話大じてん』  
永田美絵／著  
成美堂出版

お母さん、わたしは毎晩お母さんといっしょに夜空を見る時間が大好きです。星を探すのは夜空を冒険するようで心がわくわくするからです。そんな時、「星座と神話」の本を見つけました。この本は、星座の形や名前がわかりやすく書いてあり、神話も知ることができます。わたしは、みずがめ座です。もうすぐ秋になり、夜空にみずがめ座が見える季節になります。お母さん、今度みずがめ座を探し冒険をしよう、秋の星座の神話を話しながら、秋の四角形を見つけよう。みずがめ座にはアラビア語で「最高の幸せ」「ひみつの幸せ」という名前がついているように、わたしとお母さん二人でひみつで最高の幸せな夜の旅に出かけよう。



# 『すきなことが わからない』

おすすめの  
相手  
好きなことを  
見つけられない人へ

山川 遥太 (宮城県)  
石巻市立石巻小学校 6年生



『すきなことがわからない』  
古内しんご / 作 つきおかももこ / 絵  
三恵社

これを読んでいるそのあなた。好きなことはありますか。この本は、好きなことを見つけられず、なやんでいる子どもの物語です。

僕は、好きなことがない自分に劣等感を覚えたことがあります。そんなときに、僕はこの本を読み、衝撃を受けました。この本は好きなことへの向き合い方を教えてくれます。この本を読むことで、自分のペースで少しずつ「これが好きかも」を見つけていってほしいです。「好きなこと」は探そうとしている人だけが見つけれられる宝物だと思います。きっとその宝物は、世界に一つだけ、あなたしか持っていない、あなたにしか見つけられないあなただけのものです。

# 『光が死んだ夏 7』

おすすめの  
相手  
明るくふるまっているけど、  
内面では、こ独を  
感じている人へ

佐藤 彩 (福島県)  
いわき市立四倉小学校 6年生



『光が死んだ夏 7』  
モクモクれん / 著  
KADOKAWA

まわりには明るく接しているけれど、本当はどこかみたされない。そんなこ独を抱えている人に『光が死んだ夏』第7巻を読んでほしいです。

私はたまにいやな言葉をあびせられて傷ついても、「やめて」とは言えず明るく笑ってふるまってしまうことがあります。この物語に出てくる登場人物も、表ではふ通にふるまいながら心のおくで重たい感情をかくしています。とくに、よしきと光の関係には言葉にできないさみしさを感じていてむねにささります。「分かってほしいけど本当の気持ちは見せられない。」そんな思いに共鳴する人には、この作品がそっと寄りそってくれるはずです。



『やりたいことから引ける！』

# ガンプラテクニク バイブル Ver.2.0

おすすめの  
相手 パパ

田口晃太郎（栃木県）

宇都宮市立上河内西小学校5年生



『やりたいことから引ける！』  
ガンプラテクニクバイブル Ver.2.0  
「G作戦」小西和行／監修  
©創通・サンライズ  
成美堂出版

僕は初めてガンプラを作った時、大事な角を折ってしまいました。とてもショックでした。さらに、パパに大きなため息をつかれショックが二倍になりました。

この本には、失敗した時の対処法が載っています。パーツを折ってしまうのは僕だけではないということ。他にもおすすめの実具、基本から高度な技が載っています。わざと壊したり、汚した作品もたくさんあります。見ているだけで、わくわく楽しいです。

パパ、折ってしまった角は失敗ではなかったんだよ。ガンプラは自由に楽しむことができるんだ。この本を読んで一緒にガンプラ作りを楽しもうね。でも、パパが毎回足を左右反対につける技は載っていないよ。

## 『五七五』

# ぼくのとたりは ブラジル人

おすすめの  
相手 ブラジル人の私の友達と言語の壁に悩まされているあなた

神坂衣都（群馬県）

伊勢崎市立南小学校6年生



『五七五ぼくのとたりはブラジル人』  
万乃華れん／作 黒須高嶺／絵  
文研出版

日本には、たくさんの方の外国の方がいるよね。私のクラスにも大勢いる。仲の良い友達もブラジル人だし、近所の人も外国の人。こんなに大勢いるけれど国によって言語がちがう。それなのになんか心が通じ合えるのだろうか。そんな「なんで？」にこの本はこたえてくれた。「人種や国なんて関係ない。」「ふつうなんて存在しない。」そんな思いを主人公のあさひは伝えたかったのかもしれない。国境の壁は決して低くはないけれど、きっとこの本を読めば、「国なんて関係ない。」という思いが変わると思う。私の大切なブラジル人の友達と、言語の壁に悩まされているあなたにこの本を届けたい。



## 『7年目のランドセル』

ランドセルは海を越えて、  
アフガニスタンで始まる新学期

おすすめの  
相手 ぼくのランドセルを  
ほしがる福ちゃん（弟）

太田想介（埼玉県）

川越市立新宿小学校6年生



『7年目のランドセル』  
ランドセルは海を越えて、  
アフガニスタンで始まる新学期』  
内堀タケシ／写真・文  
国土社

ぼくは、今使っているランドセルを、本当は誰にもあげたくないんだ。ぼくの名前が刻まれた金属プレートは、一番のお気に入り。でもこの本を読んで、日本から遠くはなれたアフガニスタンで自分のランドセルを大事に使ってくれたら、誰かにあげてもいいなと思ったんだ。ランドセルを背負ったみんなはすごい笑顔だった。

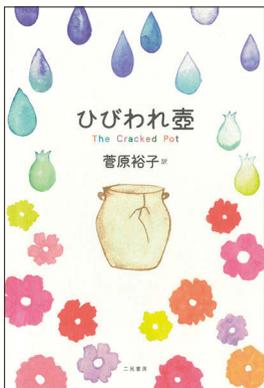
ばあさまは、「福にもランドセルを買うわ。」と言っているけれど、福がお兄ちゃんのおさがりがいいと言うならばぼくは大賛成。でも一つ条件がある。六年間ぼくのランドセルを使ったら、十三年目のランドセルとしてアフガニスタンへ送り出してくれ。そのためにぼくは『7年目のランドセル』を何度も読んであげるよ。

## 『ひびわれ壺』

おすすめの  
相手 自分の欠点に  
なやんでいる人

澤田美遥（東京都）

世田谷区立三軒茶屋小学校5年生



『ひびわれ壺』  
菅原裕子／訳  
二見書房

皆さんは、勉強や運動が得意な友達が羨ましかったり、自分を情けなく感じることはありませんか。私にもあります。この本は、水くみ人が完璧な壺とひびわれ壺を提げて水を運ぶ話です。ひびわれ壺は水がこぼれ半分しか届けられず、自分は役立たずだと落ち込みますが、物語の結末はまさかの展開が待っています。水を運ぶのとは全然違う、人を幸せにする役割を果たします。ひびわれ壺にしかできない新たな宝物を生み出す。本を読んで心が温まり、自分のことがもっと好きになれた気がします。誰でもあるひびは、考え方を変えれば欠点どころか、その人が持つ世界に一つだけの宝になると思います。自分はダメだと思う人にお薦めの自分を好きになれる本です。



# 『はりねずみの ルーチカ』

まよいこんだフェリエの国』

すすめたい  
相手

この世界を楽しみたい人へ

宮田彩恵子（東京都）

昭和女子大学附属昭和小学校4年生



『はりねずみのルーチカ  
まよいこんだフェリエの国』  
かんのゆうこ/作 北見葉胡/絵  
講談社

皆さんはどんなめがねで世界を見ていますか？ 赤ちゃんの時には、みんな、何も持っていない。でも、大きくなるにつれて色々なこころのめがねをかけて世界を見るようになってくると、このはりねずみのルーチカはわたしに伝えてくれた。

今のわたしは、どんなレンズで世界を見ているのだろう。わたしは今、自然と同じ、彩りのレンズで世界を見ている。なぜなら、そこら中に性格がちがう友達や人々がいて、まるで自然の草花のように、色々な人たちがいるからだ。大人になったら、わたしはどんなめがねを見つけていくのか楽しみだ。この本を読んでからそうやって今の世界を見てみると、世界が少しちがって見えて、楽しめるようになるかもしれない。

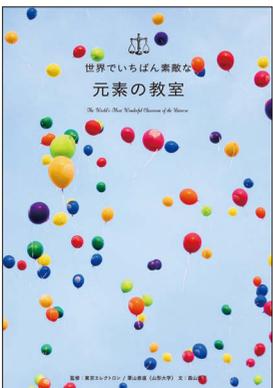
# 『世界でいちばん素敵な 元素の教室』

すすめたい  
相手

理科の教科書を見て  
暴れている中高生

米田悠真（神奈川県）

平塚市立岡崎小学校6年生



『世界でいちばん素敵な元素の教室』  
栗山恭直、東京エレクトロン/監修  
森山晋平/文  
三才ブックス

全国の「元素」と聞いて暴れ出した中高生に告ぐ。今すぐに教科書を投げ投げ、この本に目を通すことを勧める。

元素について一からわかりやすく説明してあるので、元素がよくわからない中高生諸君、教科書は見捨てるように。また、きれいな写真とともに解説されているので元素のことを理解している中高生諸君も、教科書はポイだ、ポイ。ところで元素の本といえば、筆者の好きな元素を答えるのがお決まり。私が好きなのは七十四番、タングステン。硬くて力強い金属で最も熱に強い元素でもある。百三十ページに載っているぞ。

このようにとてもわかりやすい本なので、中高生諸君は今すぐ教科書を投げ捨てることを勧める。



# 『みんなの ためいき図鑑』

すすめたい  
相手 パパ

片桐雅美（大阪府）  
関西創価小学校4年生



『みんなのためいき図鑑』  
村上しいこ／作 中田いくみ／絵  
童心社

いつも一生懸命に仕事をしてるパパ。ついついため息をついてしまうパパ。お休みの日はつかれているのに、私たちがおねがいすると色々な場所に連れて行ってくれるね。そんなパパに「ため息の理由」を伝えたいから、この本を紹介します。

この本の主人公は、色々な問題にぶつかりながらも、「ためいき図鑑」を作ることで良い方向に変わっていきます。ため息は悪いものではない。ため息は一息をつくためにあるもの。つかれたときは、この本の主人公のように、一息ついて、自分の気もちを表現してください。少し止まっていいんだよ。そして元気に進んでいこうね！ パパ、いつもありがとう。

# 『手話の本』

すすめたい  
相手 手話を知らない人

川上心愛稀（兵庫県）  
姫路市立豊富小中学校4年生



『手話（てことば）の本①名詞  
ぐらしの手話』  
井崎哲也／監修 冬野いちこ／絵  
あすなろ書房

もし耳が聞こえない人が近くにいたらどうしますか。私が手話という目で見える言葉を知らなかった時は、文字を書いて会話をしているのだと思っていたので、初めて手話を見た時はとてもびっくりしました。手話は見たままの様子を表すことが多く、自転車という手話ならペダルをこいでいる足の様子を両手で表します。そうなんだと思った人にこの本を読んでもらって手話を知ってほしいです。歌詞に合わせて手話をして音楽をみんなで一しょに楽しむことも、ジエスチャーゲームのように楽しく会話することも出来ます。手話を知らない人が、身ぶり手ぶりでコミュニケーションをするおもしろさを知ってもらえるとうれしいので、この本をおススメします。



## 『すいはんきのあきやすみ』

すすめたい  
相手 表情をもっと  
ふやしてほしいパパへ

川本未悠（兵庫県）  
神戸市立西郷小学校4年生



『すいはんきのあきやすみ』  
村上しいこ／作 長谷川義史／絵  
PHP研究所

パパはいつもおもわない顔をしていてつまらない。動画を見ているときや家で仕事をしているときでもそんな顔ばかり。うちはたいくつだ。そんなパパには『すいはんきのあきやすみ』がおすすめやで。

この本には、すぐにつっこみだす人たちがおるんやで。おかあちゃんは、ずっと表情が変わるから楽しそうやで。おとうちゃんは、かり物きょうそうで、すいはんきの「ジャーちゃん」と思いつきりけんかしたつたで。パパは、いつもうちとけんかしてるけど、この本ではパパとすいはんきが思いつきりけんかしてるんやで。

この本を読んでパパも、もっとおもしろい人になって、うちをわらわしてな。

## 『正解のない問題集』

すすめたい  
相手 ゆうじゅうふだんな人

中谷くるみ（兵庫県）  
伊丹市立池尻小学校5年生



『正解のない問題集  
ボクらの課題編』  
池上彰／監修  
Gakken

わたしはこの本を読んでから、一つの問題でもいろんな意見が持てるようになりました。わたしはもともとゆうじゅうふだんなタイプで、一人で決めることが苦手でした。ある日、母がこの本を買ってくれて読んでみると、一人一人には一つ一つ意見があるのだと気づき、自分の意見が持てるようになりました。これまでだと、自分の意見をなかなか言えずに全部人に任せていました。ですがこの本と出合ってから、人の意見を否定するのではなく肯定しながらも自分の考えを言えるようになりました。自分の意見が言えるということはとても気持ちいいことなのだ実感しました。わたしのようにゆうじゅうふだんな人はぜひ、この本を読んでみてください。

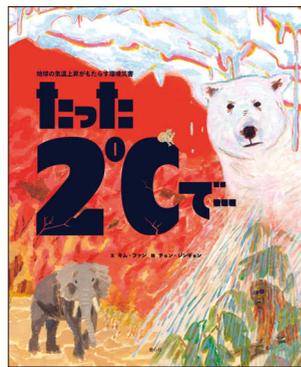


# 『たった2℃で…』

おすすめの  
相手 地球で生きているみんな

安武莉彩 (兵庫県)

神戸市立西郷小学校4年生



『たった2℃で…』  
地球の気温上昇がもたらす環境災害』  
キム・ファン/文 チョン・ジンギョン/絵  
童心社

わたしが、地球で生きているみんなにこの本をすすめたいと思った理由は、地球で生きているみんなに関係があると思ったからです。地球の平きん気温がたった2℃上がるだけで、地球でくらす動物やよく物のいのちがあぶなくなります。今、地球は温だん化という病気にかかってねつが出ています。わたしもかぜをひいたときにいつもより体温が2℃上がったら体があつてもしんどかったです。すでに地球の平きん気温は1・1℃も上がってきているので、きっと地球は今しんどいと思います。これ以上、地球が病気になるってねつが上がらないように今地球で生きている一人一人が何ができるのかを考えて地球の手当てを今すぐしてあげる必要があると思いました。

# 『みえるとか みえないとか』

おすすめの  
相手 世界中の全ての人

佐藤優 (奈良県)

智辯学園奈良カレッジ小学部5年生



『みえるとか みえないとか』  
ヨシタケシンスケ/さく  
伊藤亜紗/そうだん  
アリス館

「なんか大変そうだな。」  
この本を読むまで私は、目の見えない人の事をそう思っていました。私の目は見えているよ  
うで、大切なものが見えていなかったのです。  
この絵本は、「ちがいを」を知ることが「ちかづ  
く」ことにつながるかと教えてくれます。宇宙人  
の視点から描かれる地球の探検は、視覚に頼る  
ことが当たり前になつている私達に、見えない  
世界の豊かさを教えてくれます。「見える」こと  
が全てではないと気付いたとき、みなさんの世  
界はもっと広く、もっと深く、もっとやさしく  
なるでしょう。多様性や共生について考えるき  
っかけとして、ぜひ手に取ってほしい一冊です。  
読むたびに、誰かの「ちがいを」が愛おしく思え  
てくるはずです。



# 『メガネをかけたら』

おすすめの  
相手

メガネがきらいな人、  
メガネを初めてかける人

神埜明奈 (和歌山県)

智辯学園和歌山小学校5年生



『メガネをかけたら』  
くすのきしげのり/作 たるいしまこ/絵  
小学館

私は四才の時から今までずっとメガネをかけている。保育園の時は「みんなメガネなんかかけてない。メガネをつけない方がかわいいし、かけたくない。」というこの本の主人公とまったく同じ感情だった。けれどやっぱり、勇気を出してメガネを買って正解だったと今になって思う。からかわれると思うっていたのに、思ってもいなかった返事が返ってきた。「かわいいね。」って。それから私はメガネをかけている。メガネをかけると特別な何かが見えてくる気がしたからだ。この本は私の過去を思い出さしてくれて、なつかしさも感じられた。初めてメガネをかける人は、こわがらずワクワクした気持ちでかけてほしい。そうしたら、特別な何かが見えるはずだから。

# 『きみのところをつよくするえほん』

おすすめの  
相手

最近すぐにおこる弟

中谷優吹 (和歌山県)

智辯学園和歌山小学校4年生



『きみのところをつよくするえほん』  
足立啓美/監 川原瑞丸/絵  
主婦の友社

最近弟がすぐおこる。ちょっとトミカをさわっただけですぐおこる。どうやらイライラ期というらしい。ぼくもイライラしてケンカになり2人共お母さんにおこられる毎日でストレスだ。そんな時この本を読んで、弟の中でもややくんがあげられていると分かった。助けてあげる方法がいくつか書いてあったけど、ぼくのおすすめは好きな歌を歌うこと。いっしょに今の気持ちに入り歌っていると2人共楽しくなっちゃう。聞いているお母さんもニコニコする。もやもやくんの退治大成功だ。  
弟へ。この本を読んであげるから、もやもやくんはなるべく早くやつつけようね。イライラ期が終わるまでぼくもがんばっていっしょにたかうからね。



『見ながら学習調べてなっとく  
ずかん こけ』

おすすめの  
相手  
コケの美しさを  
知らない人へ

西畑碧志 (和歌山県)  
和歌山市立小倉小学校5年生



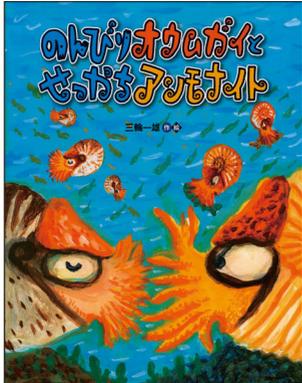
『見ながら学習 調べてなっとく  
ずかん こけ』  
木口博史、古木達郎／著  
技術評論社

身近な場所にたくさん生息しているコケを、  
拡大して見たことはありませんか？ ぼくは、自  
由研究でコケについて調べたいと思い、この図  
鑑を手に取りました。遠目にはどれも同じよう  
に見えるコケも、ルーペを使って拡大してみ  
ると、色も形もそれぞれ違うことが分かります。  
多くのコケには茎や葉つばもあり、一本一本が  
まるでミニチュア樹木に見えたり、きれいな集  
合体状の花のように見えたりします。コケの何  
がきれいなのか？と聞かれたことがあります。コ  
ケが全部同じに見える人、美しいと思った事  
がない人は、ぜひこの図鑑を読んで実際にコケを  
ルーペで見たいです。きっと、実際のコケ  
の美しい姿を見てびっくりすると思います。

『のんびりオウムガイと  
せっかちアンモナイト』

おすすめの  
相手  
せっかちな人

石原希一 (岡山県)  
玉野市立荘内小学校4年生



『のんびりオウムガイと  
せっかちアンモナイト』  
三輪一雄／作・絵  
偕成社

約五億年も前から、オウムガイは生きていま  
す。進化の中で、オウムガイの中のせっかち  
なグループがアンモナイトになったそうです。地  
球に大きないん石がしようとした時に、せっ  
かちアンモナイトはぜつめつしてしまっただけ  
で、きはいないがきびしいかんきょうでのんびり  
生きる事を選んだオウムガイは生きのこりまし  
た。

ぼくは、せっかちです。早口だねとよく言わ  
れるし、ゆつくり食べなさいと毎日おこられま  
す。でも、このままだとアンモナイトみたいにな  
ってしまいかもしれません。自分の事をせっ  
かちだと思う人。この本を読んで、ぼくといっ  
しょにのんびり屋を目指しませんか。



# 『私の職場はサバンナです!』

おすすめの相手  
ばあちゃん

水ノ上 怜奈 (広島県)  
英数学館小学校5年生



『私の職場はサバンナです!』  
太田ゆか／著  
河出書房新社

アフリカに行きたいって言ったたら心配するよね。サバンナで働きたいと言ったらどんな顔するだろう。心配性のばあちゃんは腰を抜かしちゃうかな? ばあちゃん、この本を読んでみて私のやりたいことが全部ここに書いてあるよ! ゆかさんってすごい人なんだ。日本人の女の子で、サバンナで動物たちの生活を守るためにサファリガイドをしてる。知ってた? シロアリってサークルオブライフのヒーローなんだって。サイは角を切らないと密猟者に狙われて殺されちゃうんだよ。知らないことがまだまだ沢山あった。動物を守るお仕事をしたいと再確認した。私は彼女みたいに、サバンナから地球を守りたい。だから、ばあちゃんも私の夢を応援してほしいな。

# 『僕は上手にしゃべれない』

おすすめの相手  
苦手意識をもつ人

鎌尾 圭佑 (愛媛県)  
愛媛大学教育学部附属小学校6年生



『僕は上手にしゃべれない』  
椎野直弥／著  
ポプラ社

しゃべる。それは自分の考えや意見を相手に伝えること。では、あなたはすらすらと上手にしゃべることができますか。  
この本の主人公は、きつ音という言葉がスムーズに出てこないハンデに日々、悩まされていました。でも、周りの人のやさしさに支えられながら自分の声と向き合い成長していきます。話せないことを「できない」とせず、「別の形で伝える力」に変えていく勇気をくれます。「うまく話せなくても、自分には伝える力がある」と気づかせてくれる物語です。  
自分の意見を伝える方法はたくさんあるから、上手にしゃべれないからといって諦めないでほしい。きっとあなたは、自分だけの素晴らしい伝え方を知っているから。



# 『うせものがかり』

おすすめ  
相手  
よく物をなくすお父さんへ

重松美夢（愛媛県）

愛媛大学教育学部附属小学校5年生



『うせものがかり  
なくしたものを、見つけます。』  
ほしおさなえ／作 pon-marsh／絵  
ポプラ社

「お父さん、そんなに物を探していたらもう十時だよ！」

そんな夜があった。私も物をなくすことはあるけれど、お父さんは物をなくす回数が多い。多いときは一カ月に九回は物をなくしてしまう。そんなお父さんに『うせものがかり』という本がピッタリだと思った。遠山さんがまゆのなくしものを白い縁の糸を使って見つけ出すお話だ。お父さんに勧めたい部分は、なくした物と探している人のお互いが探していないと縁の糸が赤くならないところだ。なくした物を大切にしていたら、なくした物も持ち主を探しているから、縁の糸は赤くなるわけだ。お父さんの弱点は物を大切に使わない所。大切に使う、なるべくなくし物を減らしてほしい。

# 『赤毛のアン』

おすすめ  
相手  
全国の空想族の皆さんへ

乃万未来（愛媛県）

愛媛大学教育学部附属小学校4年生



『赤毛のアン』  
ルーシー・モード・モンゴメリ／著  
村岡花子／訳 HACCAN／絵  
講談社青い鳥文庫

お母さんに怒られたとき、私は空想する。本当のお母さんは別にいて、貴族の末裔で、世が世なら豪邸に住んでいて、お手伝いさんが100人いて、私は何をしても怒られないおじよう様……。

私も！と思った全国の空想族の皆さんにこの本をおすすめします。アンは元祖空想族、自分の気もちに正直で、愛情深く、小さな喜びを見つける名人です。アンはきつとあなたの空想を「想像力が豊かですてきだわ！」とほめてくれるでしょう。そして、いちご水でかんばいをして、あなたの「腹心の友」になってくれること間ちがいなし！

空想族も自信が持てる、新しい明日がちよっぴり楽しみになる本、ぜひ読んでみてください。



# 『いいわけはつづくよ どこまでも』

おすすめの  
相手

文字だけの本を読むのがにがてで  
あまり読んだことがない小学生の  
みなさん

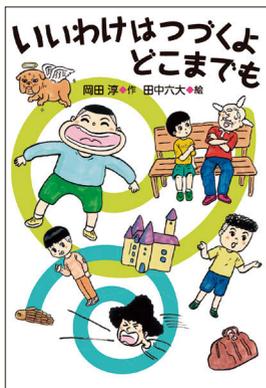
田中吏琉 (福岡県)

柳川市立やまと小学校6年生

世の中の小学生のみなさん、文字だけの本を  
読みたい時もありますよね。そんなときに  
おすすめなのはこの本です。

この本を読むと、どんどん文字だけの本にな  
れてきて、どんどんむずかしい本も読めるよう  
になります。そして、どんどん漢字なども覚え  
ることができるようになるでしょう！

ぼくは、この本を読んで確かに「文字だけの  
本になれてきた」「漢字も覚えることができた」  
と感じました。ただ、文字だけの本を読みなさ  
いと注意されることもあると思うけど、この本  
を読んで本とのかかわり方をもういちど考えて  
みてはどうでしょうか？



『いいわけはつづくよどこまでも』  
岡田淳／作 田中六大／絵  
偕成社

# 『ヘレン・ケラー』

おもしろくてやくにたつ子どもの伝記7

おすすめの  
相手

「人生終わった」と  
思っている人

石川葵葉 (熊本県)

荒尾市立万田小学校6年生



『ヘレン・ケラー』  
おもしろくてやくにたつ子どもの伝記7  
砂田弘／文  
ポプラ社

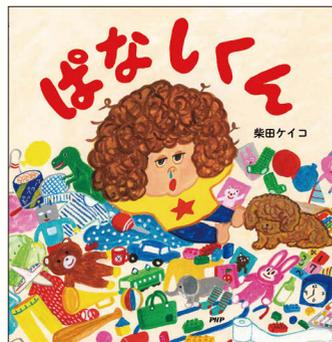
みなさんはなぜ「人生終わった」と口にする  
のだろうか。受験で落ちた人、会社で失敗した  
人、重い病気になってしまった人なのかもしれない。  
確かにそんな目にあえば何もかも終わら  
だと考えてしまうかもしれない。でもこの本を  
読む間だけでも、その考えを横に置いてほしい。  
ヘレン・ケラーは幼い時に耳と目と話すことが  
不自由になった。絶望的な状況にもかかわらず、  
人生を楽しむことをあきらめなかった史上最高  
の人物だ。この本をきっかけに、「人生は終わら  
ない」と考えられるかもしれない。それどころ  
か「じゃあこれからどうしよう」となって、生  
きることは楽しいと思えるかもしれない。



## 『ぱなしくん』

おすすめの  
相手 部屋を片付けない  
お兄ちゃんへ

安藤美花 (宮崎県)  
延岡市立旭小学校5年生



『ぱなしくん』  
柴田ケイコ/作・絵  
PHP研究所

ママから、いつも「部屋が散らかっちゃうよ、はやく片付けんけ。」と言われても、全然片付けないお兄ちゃん。だらしなくて、どうしようもないね。見るだけで、私もいやな気持ちになってるよ。そこで、お兄ちゃんに『ぱなしくん』という本をおすすめするね。ぱなしくんも散らかしっぱなしで、いつもお母さんにおこられてるよ。お兄ちゃんそっくりでしょ。でも、ぱなしくんは、部屋に出たおぼけをきっかけに別人のようにきれいな好きになるんだよ。お兄ちゃんも、そうなったらうれしいけど、私はおぼけがこわいんだ。お願いだから、絶対におぼけが出る前に片付けてよ。できそうにないときは私が手伝うから、ママにおこられる前に、こっそり言ってね。

## 『マリと子犬の物語』

おすすめの  
相手 三年生のときの担任の先生

出口心絆 (宮崎県)  
椎葉村立不土野小学校5年生



『マリと子犬の物語』  
ひろはたえりこ/文  
汐文社

「またいつか元気に会おうね。」  
ぼくの大好きな先生が、今年の三月にい動となりました。いつも明るく元気で、可愛い先生です。全校児童が八人しかいなかったぼく達の学校では、家族のような存在でした。  
きっと先生は、一人で新しい場所に行き、不安やさびしさを感じていると思います。そんな先生に『マリと子犬の物語』という本をしようかします。

この本は、はなればなれになっても、それぞれの場所で一生けん命にがんばってあげれば、いつかまた笑顔で会うことができるかと教えてくれます。

百kmはなれていても、この本で心をつないでたいです。



# 『きみはきみだ』

すすめたい  
相手 兄ちゃん

平川 鈴紗 (宮崎県)  
延岡市立旭小学校5年生



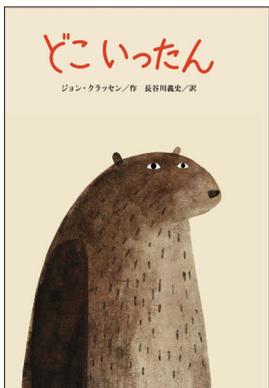
『きみはきみだ』  
斉藤道雄／文・写真  
子どもの未来社

いつも優しい兄ちゃん。私は、そんな兄ちゃんが大好きです。昔から障がいがあるからと、差別されているのを見て、助けたいと思っていました。そんな優しい兄ちゃんは、いつも自分をせめて泣いているね。そんな兄ちゃんに、すすめたい本が、『きみはきみだ』だよ。主人公にも、得意な事、苦手な事があるんだ。この主人公は、周りに助けをもとめていくんだよ。この本を読んで、自分のことを好きになってほしいと思います。この主人公のように、自分をせめて、友達をたくさんつくってほしいです。兄ちゃん、たくさんききずついた分、たくさん幸せになってください。ずっと近くで、大好きな兄ちゃんを私は、見守っていくね。

# 『どこいったん』

すすめたい  
相手 嘘をついてる人

中川 瑛太 (沖縄県)  
石垣市立石垣小学校6年生



『どこいったん』  
ジョン・クラッセン／作  
長谷川義史／訳  
クレヨンハウス

僕はよく嘘をつく、嘘をついた時僕は笑っている。それは相手のことも考えず。その中この本に出合った。どんな人も、嘘をついたことのない人はいないと思う。  
ウサギはクマに嘘をついてしまった。嘘に気づかれてしまいクマに食べられたのだろうか。あとのリスもそのうち気づいてクマに仕返しをするだろう。  
恨みは大きくなり、いつか仕返しを何倍にもしてくるということが分かった。  
嘘をついていて何も考えず相手の気持ちが変わっていない人は、いつか取り返しのできないことになると思うので、そうなる前にこの本を手にとって読んでみてください。そしたら何かがわかると思います。



# 中学生の部



作品は入賞者の居住地の都道府県コード順、同一都道府県内は氏名の五十音順に掲載し、入賞者の敬称は略しました。

## 『ブルーノ』

おすすめの  
相手 小・中学生の人

青木美心（北海道）

札幌市立栄中学校2年生



『ブルーノ』  
Fukase/作  
福音館書店

私が推薦するのは、『ブルーノ』という本です。私がこの本を推薦するのは「物事は、様々な見方がある。」ということをし、教えてくれた本だからです。この物語は、二人の視点から読むことができます。一人目は、タルカスという国民。二人目は、国の王様。同じ物語を読んでいるはずなのに、視点が変わると、捉え方がガラッと変わってしまうのです。国民のタルカス視点から読むと、王様が悪いように感じるのですが、王様視点から読むと、王様にも様々な考えがあったことが分かります。これが、この本の面白いところですよ。

視点が変わると、考え方も変わります。みなさんもこの本を読み、自分に当てはめてみませんか？

## 『ひだりポケットの三日月』

おすすめの  
相手 自分の事が  
好きになれる人へ

瀬尾佳優（北海道）

北海道教育大学附属函館中学校1年生



『ひだりポケットの三日月』  
三上大進/著  
講談社

三上大進さんは生まれつき左手の指が二本で、セクシャルマイノリティを公表しています。現在は美容の世界で活躍しており、東京パラリンピックではリポーターも務めていました。障害と性のことでたくさんの辛いこと、乗り越えなければならぬ壁にぶち当たったとき、お母さんから「自由か不自由かは自分自身が決める」という言葉を教えられ、それを受け止めて人との「チガイ」を受け入れるようになります。重くならずがちなテーマですが、三上さんのユーモア溢れる言葉選びと誰もが読みやすい文章とテンポのおかげでどんどん読み進めることができます。感動はもとより新たな気づきや学びも多い一冊です。みなさん、題名の意味を知りたいですか。



# 『ガリガリ君が できるまで』

おすすめの  
相手  
アイスの消費者へ

平村碧人（北海道）  
札幌市立栄中学校1年生



『ガリガリ君ができるまで』  
岩貞みこ／作 黒須高嶺／絵  
講談社青い鳥文庫

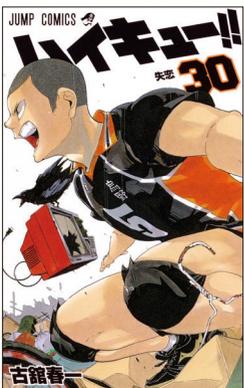
今、椅子に座ってアイスを食べている人にとっての本をすすめたい。この本は、アイスの生産者が消費者からの人気を集めるような味や風味を開発する骨の折れるような作業と感動が描かれている本です。皆さんもこの味のアイスあったら買うのにや、この味売ったら売れるのに、と思ったことがあるかもしれません。それはアイスのように甘い話です。実はアイスの開発部では様々な話し合いがされています。例えば新しい味を開発する場合、予算、輸入、必要性など様々な話し合い、何度にも及ぶ試行錯誤をしたのち店頭に並びます。どうでしょうか、この本を読めば普段店頭に並んでいるアイスも自然と違った見方ができるかもしれません。

# 『ハイキュー!! 30』

すすめたい  
相手  
失敗したり  
壁にぶつかったりした人

森悠人（北海道）

北海道教育大学附属函館中学校2年生



『ハイキュー!! 30』  
古館春一／著  
©古館春一／集英社  
集英社

「できるまでやればできる」ことを知っていますか？ できるまでやればできるのです。私は小学校高学年のとき、なかなか跳び箱が跳べませんでした。家に帰っても暗い気持ちです。すごしているときこの漫画を手に取り、このセリフを見たのです。この漫画はバレーボールを題材として、このセリフは登場人物が壁にぶつかったときに放ったセリフです。私は一度失敗すると「恥ずかしいからやりたくない」と同じことをあまり積極的に行いませんでした。しかしこのセリフを見て「確かに」と思ってしまった。私は失敗しても何度かチャレンジすることができるようになり、今ではあたりまえのこととなっています。みなさんもできるまでやってみてください。



## 『レンタル家族』

すすめたい  
相手 大切な人がいるみんな

志賀めいな (秋田県)

秋田市立山王中学校1年生



『レンタル家族』  
松本健太郎／著  
双葉文庫

「おじいちゃん家、ゲームないから行かない。」あの時会いに行っていたら。少し気持ちは軽くなっていたかもしれない。その次の日、おじいちゃんは入院しました。おみまいに行きたかったけど中学生じゃなかったので行けませんでした。おじいちゃんが亡くなってからは、気持ちの整理が付きませんでした。だんだんと受け入れることができるようになりました。『レンタル家族』の、「本当は分かっているんだ。死ぬってどういうことか。」というセリフを見て、亡くなった時、こんなにしていて自分を思い出しました。大切な人がいるみなさんも、「まだ後のことだから。」と思わず、今いる人との時間を悔いのないよう過ごしてほしいです。

## 『ぼくのニセモノをつくるには』

すすめたい  
相手 知らない自分を  
見つけたい人へ

佐藤杏風 (茨城県)

東海村立東海南中学校1年生



『ぼくのニセモノをつくるには』  
ヨシタケシンスケ／著  
プロンズ新社

宿題、手伝い、そうじ、やりたくないことだらけでぐったりしている人が、手に取りそうな題名の本ですが、実は、知らない自分を見つけない人におすすめの絵本です。主人公のけんたは、自分のニセモノとなるロボットに、好きなものやできることなどを教えていきます。そのうちに、祖先のことや自分の居場所、自分しか知らないことなど、今まで考えたことが無かった自分自身を客観的にとらえていくようになります。考えれば考えるほど、自分の色々な情報が出てきちゃう。めんどくさいけど、ちょっと楽しい気もする。自分にはどんな情報や考えがあるのか、けんたといっしょにこの体験をぜひ味わってみてください。



## 『黒い雨』

すすめたい  
相手

戦争を是とするあなたへ

後藤墨登 (栃木県)

大田原市立若草中学校2年生

「私は、黒い雨に打たれたのだ。」

「黒い雨」これは、本のタイトルにもなっている言葉だ。この言葉は、原爆投下後に降った放射性物質を含む雨を表している。ただ、本当にそれだけの意味なのか。私は、この言葉には深い意味があるように感じる。自然の雨に「黒」という色が付くことの異様さ。私は思う。この言葉は、戦争の異常さ、そのものを表していると。さて、今年で戦後八十年。今だからこそ、あなた達に問う。

「戦争で得られる幸せは何か。」

国の名譽、領土、支配権……。これは、人を傷付け、命を奪ってまで欲しいものか。平和の尊さこそが人間の幸せではないか。この本を読んだ戦争を是とするあなた達へ。

「戦争で得られる幸せは何か!」



『黒い雨』  
井伏鱒二／著  
新潮文庫

## 『きみの鐘が鳴る』

すすめたい  
相手

中学受験生

五十嵐蒼馬 (埼玉県)

獨協中学校1年生



『きみの鐘が鳴る』  
尾崎英子／作  
ポプラ社

中学生になり数か月が過ぎた。つらい早起きと満員電車の毎日だ。でも、楽しい。気の合う友達も、尊敬する先輩もいて。僕は中学受験をした。ただ、順調からは程遠かった。塾をやめたこともあったし、結果を前に呆然とした日もあった。この本は、そんな中学受験生四人の物語だ。その一人、優秀だった姉との比較に悩む伽凜の話が心を打った。それまで無関心だった姉が手を差し伸べる場面がある。自分の努力次第。それが受験だと思っていたけれど、そうではない。家族も先生も、多くの人たちの支えがあつて進める道なんだと感じさせてくれた。くじけそうなときこそ読んでみてほしい。一人じゃないと思えたそのとき、きっと「きみの鐘が鳴る」はずだ。



# 『だから僕は大人になれない』

おすすめの  
相手 お母さん

内田碧 (埼玉県)  
川越市立城南中学校2年生

この本を読んでお母さんに私のことを認めてもらいたい。

たしかに私はまだ子供だから、お母さんの思う正しい道を進ませてあげたいんだろう。

でも、私にも行ってみたい道がある。

この本を読んで自分の未来を考えるようになった。こんなことしたいな。じゃあ、これをがんばってみようかなって。

この本を書いた人は私のあこがれの人、あこがれる道になった。

だからお母さんには私があこがれている道を知ってほしい。

私の進んでいきたい道を知って応えんしてほしい。

まだまだ子供な私だけど、私のことを認めてあげてください！



『だから僕は大人になれない』  
ぺいんと／著  
KADOKAWA

# 『君たちは今が世界』<sup>すべて</sup>

おすすめの  
相手 「今」を大切にしたい  
と思うあなた

籠嶋桃菜 (埼玉県)  
埼玉大学教育学部附属中学校2年生

「中学生になって友達関係が複雑になった」と感じるのは私だけ？

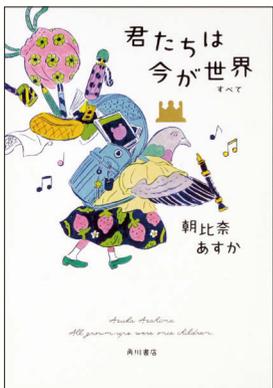
誰かと仲良くしたいのにうまく距離感がつかめない。ちょっとした言葉で傷ついてしまう。

皆に嫌われたくない。でも本音を話したい。何度そう思ったことか。

『君たちは今が世界』<sup>すべて</sup>この本は、教室での立ち位置が全く違う四人が、それぞれの苦悩と希望を抱えながら自分の居場所を必死に探し求めるという話である。

この本を読んでいるうちに、  
「こんなふうに感じていいんだ」  
と思えて、少しだけ心が軽くなった。今の私

たちの世界は、狭くて広くて、苦しくて美しい。そんな「今」を大切にしたいと思う人はぜひこの本を読んでほしい。



『君たちは今が世界』  
朝比奈あすか／著  
KADOKAWA  
※現在は角川文庫より発行。  
カバーデザインは異なります。



## 『小説

# ドラゴンクエストVI 幻の大地(3)』

おすすめの  
相手

日本語を愛する全ての人へ

佐伯ひばり (埼玉県)

埼玉大学教育学部附属中学校2年生



『小説ドラゴンクエストVI 幻の大地 (3)』  
久美沙織 / 著  
©ARMOR PROJECT/BIRD STUDIO/  
HEART BEAT/SQUARE ENIX  
エニックス文庫

私は日本語が好きだ。いや、日本語の言いまわしが好きだ。この本には、私が普段みることもないような漢字や熟語、表現が書かれている。登場人物の容姿一つを文字に表しても、沢山の言いまわしがありワクワクする。例えば、踊り子を表現するとき「髪はいずれも紫水晶の滝。瞳は黄石。唇は珊瑚。」なんて、普段生活していて使うことも、目にするすら無いような言葉をあえて使ってくる。その文を読むだけで、想像が広がる。だから私はこの本が好きだ。

今、私達は英語や略語を当たり前に使っている。それが悪いとは全く思わないが、美しい日本語を読むと気分が上がる。日本語にはそんな力がある。貴方も日本語にもう一度、魅せられてみませんか。

## 『あと少し、 もう少し』

おすすめの  
相手

陸上部

庄野巧真 (埼玉県)

日高市立武蔵台小中学校9年生



『あと少し、もう少し』  
瀬尾まいこ / 著  
新潮文庫

陸上の練習ってつまんねえよな。何回も何回も同じドリルのくり返しでさ。バウンディングだのツーステップだの。サッカーとかバスケみたいにゲーム要素もないし。  
でもね、俺は陸上を愛してるよ。それはね、仲間がいるから。辛い単調な練習も「速くなりたい」っていう同じ目標を持った仲間といっしょなら乗りこえられる。逆に仲間がいなかったら今ごろ俺、陸上やめてたよ。皆にも仲間の大切さに気づいてほしい。この本のテーマは「駅伝」。種目違う人がほとんどだろうけど、仲間の大切さ、良さが一番分かるのが駅伝だから、読んでみてほしい。それでいつも練習してる友達にありがとうの一言でも言えれば、そりゃもう一流のプリンターよ。



# 『僕には鳥の言葉がわかる』

おすすめの  
相手  
小学生のころの先生

仙野佐奈 (埼玉県)

江戸川学園取手中学校2年生



『僕には鳥の言葉がわかる』  
鈴木俊貴 / 著  
小学館

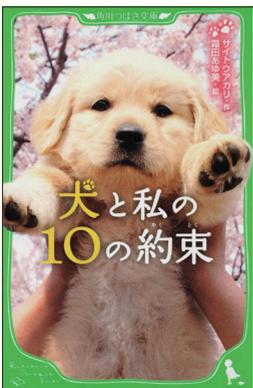
先生は、動物は言葉を持たないとおっしゃっていましたが、近年は動物の言葉について研究が進んでいることをご存知ですか？ この本では、鳥の言葉において、どうして言葉があると言えるのか、その研究と実験の過程が分かりやすく書いてあります。そして私が特におすすめしたいのは、鳥の言葉による人助けならぬ「鳥助け」の実例がいくつもついているということだと思います。人が鳥の言葉を理解することによりどういったことができるか見てみて下さい。確かに、ここまで研究が進むと「言葉」の定義について問い直さなければならぬなど、まだまだ考えなくてはならないこともありそうですが、まずはこの本を読んでみて下さい。考えが変わるかもしれません。

# 『犬と私の10の約束』

おすすめの  
相手  
お母さん

田村夏奈 (埼玉県)

埼玉大学教育学部附属中学校2年生



『犬と私の10の約束』  
サイトウアカリ / 著  
霜田あゆ美 / 絵  
角川つばさ文庫

お母さん。『犬と私の10の約束』を読んでほしい。この話は主人公の飼っている犬の話だけど、私のことだと思って読んでほしい。この話の中では主人公が飼う犬と生活していくにつれて「10の約束」が単なる言葉ではなく、心のつながりを育てる物だと気づくの。お母さんと私は今、お互いの信頼がなくなっていると思う。その原因は自分にあることは分かっている。でも、私もそうなりたくて信頼をなくしたわけではない。学校で嫌なことがあった時、話をきいてほしいのはお母さんなの。10の約束の中で「私を信じてください。それだけで私は幸せです。」この言葉を胸にきざんでほしい。それでまた、私と何気ない話を沢山しよ。



## 『笹森くんのスカート』

おすすめの  
相手 スカートの  
興味がある男性へ

四俣結希（埼玉県）  
青山学院中等部1年生



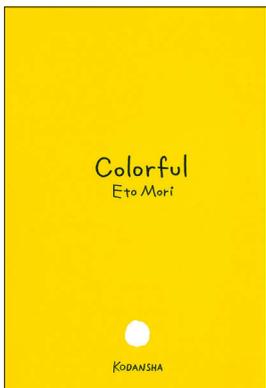
『笹森くんのスカート』  
神戸遥真／著 みずす／絵  
講談社

この小説は、男の子がある日突然スカートを  
はいて登校してきたという話だ。しかし、その  
男の子に特に理由はなく、ただ「はいてみたか  
つたから」それだけだった。  
今、ズボンがきらい、又はスカートに興味があるの  
に、スカートをためらっている男性がいるとい  
うことは確かだ。周りと違うことをすると勝  
手に意味づけされたり深刻に扱われたりする  
が、その行動に理由なんてあってもなくても  
いいんだって思った。制服でズボンを選択する  
女子だって、スカートがきらいだから、それだ  
けの理由でいい。誰かの常識が、みんなの常識  
が、世界の全てなんかじゃないと覚えてほしい。  
そして、個人の自由をもっと緩く受け止めてほ  
しい。

## 『カラフル』

おすすめの  
相手 「嫌いな人」が  
いる人へ

勝賀瀬未央（千葉県）  
恵泉女学園中学校2年生



『カラフル』  
森絵都／著  
講談社

嫌いな人、苦手な人っていますか。私は何人  
もいますし、その人達との関わり方ですつと悩  
んでいました。この本はそんな私に、「嫌い」を  
「ちょっと嫌い」にする、魔法を教えてください  
です。その魔法というのは、「人を一面だけで決  
めつけないこと」です。人にはいくつも面があ  
ります。私が嫌いだと思ったのは、あくまでも  
その人の一面でしかないので。複雑な人間関  
係の末に主人公がこの事に気付いた時の「一色  
だと思っただけでも、角度次第でどんな色だっ  
て見えてくる」という言葉が忘れられません。ぜ  
ひ『カラフル』、読んでみてください。この本を  
読んだ後、嫌いな人のことが好きとまではい  
なくとも、完全に嫌いではなくなるかもしれま  
せんよ。



## 『僕たちの 幸せな記憶喪失』

すすめたい  
相手 自分には何もないと  
感じているあなたへ

山本幸音 (千葉県)  
茗溪学園中学校3年生



『僕たちの幸せな記憶喪失』  
春田モカ / 著  
スターツ出版

昔の記憶は、どうせ消えると誰かが言っていた。ならば、私たちが今感じていることは、何も意味がないのだろうか？ この本の主人公たちは、卒業式の日を境に記憶を失うことになってしまう。記憶が消えるまでの数日間、皆は抱えきれない感情に振り回されながら葛藤する。そうやって悩むのは、忘れるとわかっていても捨てきれない想いがあるからだ。この本は、忘れた思い出だって、自分を作る一部になると教えてくれた。だから、それを教えてくれたこの本をあなたに勧めたい。今まで会った人、抱えた想いや感情が、時を超えて今のあなたを作っている。だから、自分には何もなくていい。だから、自分には何もなくていい。この物語が、あなたを作る一部になりますように。

## 『失敗図鑑 すごい人 ほどダメだった！』

すすめたい  
相手 子供のダメな所ばかり見て  
ダメ出しする大人達と、失敗して  
自信をなくしている子供達へ

飯尾風雅 (東京都)  
帝京中学校2年生



『失敗図鑑 すごい人ほどダメだった!』  
大野正人 / 著  
文響社

この本は、偉人達の失敗をまとめた本です。偉業を成し遂げた人達でもこんななにいっぱい失敗をしていたのだから、未熟な僕達子供が失敗するのは当たり前なんだと、勇気をももらえます。そして、失敗を恐れずにチャレンジすることの大切さを再認識できます。大人が子供の失敗ばかり指摘したら、子供は失敗を恐れてチャレンジしなくなってしまいます。失敗しないことが目的になってしまいます。失敗しないことで、世の中は悪くならないかもしれないけど、良くもなりません。大人達はこの本を読んで、僕達子供の失敗をどうか温かく見守ってください。



# 『君たちはどう生きるか』

おすすめの相手  
自分と向き合いたい人

市川 怜 (東京都)  
青山学院中等部3年生

正直、読んでいる間ずっと心がザワザワしていた。でも、それがよかった。特別誰かに何か言われたわけでもないのに、自分のことを責めなくなった。ちょっとだけ誰かに優しくしたくなったりする。この本は説教してこない。でも、読んでいるうちに勝手に反省している自分がい。めんどくさいけど、読んでよかったって思える。そんな本だった。この本は答えをくれるんじゃない。問いを残してくる。読んだ後に残るのは、すっきりじゃなくて、もやもや。でも、そのもやもやが、なんだか大事に思えてくる。このもやもやを心に置いておきたい。



『君たちはどう生きるか』  
吉野源三郎／著  
岩波文庫

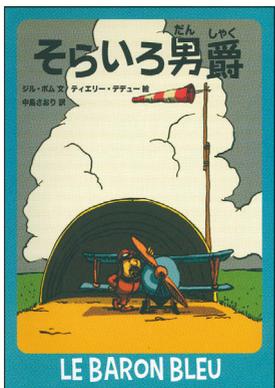
# 『そらいろ男爵』

おすすめの相手  
争いの中にいる人

稲田 悠希 (東京都)  
国分寺市立第三中学校2年生

そらいろの飛行機に乗って鳥を眺めるのが好きな、そらいろ男爵。ところが戦争がはじまり、男爵も戦わなければならなくなりました。そこで男爵が飛行機から落とした砲弾は、本でした。男爵の落とす小説や冒険物語、詩集に兵士たちは心を奪われ、読みふけり、そして戦争が終わってしまいます。

今、地球のいろんなところで戦争が起きています。そこで、僕はこの本を、世界中のあなたへ、おすすめします。疲れることや、無意味な争いはちょっと休憩して、この本を開いてみませんか。きっと本の中に広がるたくさんの世界と、平和への可能性を教えてください。そらいろ男爵のように、みんなの本を読んで、戦争のない平和な世界を作りませんか。



『そらいろ男爵』  
ジル・ポム／文  
ティエリー・デデュー／絵  
中島さおり／訳  
主婦の友社



## 『せんせい。』

すすめたい  
相手 先生を「先生」としか  
見ていない人へ

遠藤睦実 (東京都)  
恵泉女学園中学校2年生

この本は先生と生徒の関係を描いた六つの話をあわせた本です。

誰でも生徒であった人には「先生」という存在と関わったことはあると思います。そしてその「先生」の色々な面を見ることが出来る部分がある。この『せんせい。』という本のすぐくためのめりこむことができるころだと思えます。

この本の「せんせい」は普段私が見ている「先生」とは少し違い自分に近い存在で自分と同じような空気感を感じることが出来ます。また、「せんせい」は仕事をこなすだけでなく私達一人一人を見てくれていたのだと今までをふり返って改めて感じる事が出来ました。この本をきっかけに「先生」とはまた少し違う「せんせい」に気付いてほしいと思います。



『せんせい。』  
重松清／著  
新潮文庫

## 『人魚が逃げた』

すすめたい  
相手 人生に悩む人

大島文 (東京都)  
青山学院中等部3年生



『人魚が逃げた』  
青山美智子／著  
PHP研究所

「人魚が逃げた」ましてや銀座の歩行者天国に不思議な題名にひかれて、何気なく読み始めたこの本。でも、読み終えたとき、私は静かに心を揺さぶられていました。物語の中で人魚を追いかけるうちに、登場人物たちは自分自身と向き合い少しずつ変わっていきます。

あなたにとっての「人魚」って何だと思えますか？ それは夢？ 自由？ それとも自分らしさ？ 読む人によって感じ方が違うはず。この本はそんな問いをそつと手渡してくれるようなやさしい物語です。今に満足できないが一歩踏み出すことができなくて選択に迷っている人。そんな人はぜひこの本に背中を押してもらって下さい。



# 『植物はなぜ動かないのか』

おすすめの相手  
今の場所から逃げたいと  
思っている人へ

鈴木瑚々実（東京都）  
桐朋女子中学校1年生



『植物はなぜ動かないのか  
弱くて強い植物のはなし』  
稲垣栄洋／著  
ちくまプリマー新書

「植物の生き方は変えられるものを変えることである。」この一言に私は感動した。植物は動かないんじゃない。動けないのだ。害虫がやってきても、生息場所が適していなくても、そこで生きるしかない。だから植物はその場所に合わせ、形や大きさを自由自在に変化させる。変えられるものが自分自身しかないから。私はこの本を読んで人間はその場所の環境を受け入れて自分自身を変えているだろうかと考えた。人間は動くことができず、その場所から逃げるのができてしまう。ただ、場所を変えるのではなく植物のように自分自身を変えてほしい。だから今の場所から逃げないで。自分自身を見つめて変えられる所を変えていって。

# 『月収』

おすすめの相手  
姉

鈴木陽人（東京都）  
荒川区立尾久八幡中学校3年生



『月収』  
原田ひ香／著  
中央公論新社

最近、就活に苦しんでいる姉に原田ひ香さんの『月収』という本を紹介したい。姉は「自分にふさわしい月収」にこだわらず、内定が出ないと心が不安定になってしまっている。けれどこの本には、月収が高くても孤独な人や、少ない収入でも幸せを感じて生きる人たちが登場する。お金はもちろん大切だけど、稼ぐことだけが人生の価値じゃない。働き方も生き方も、人それぞれでいいのだと気づかされる。私は、姉がこの本を通して、少しでも心が軽くなり、「自分らしく生きること」に目を向けられたらいいなと思っている。がんばり屋の姉だからこそ、もっと自分を大切にしてほしい。私はどんなときも味方だよ。そう言いたい。



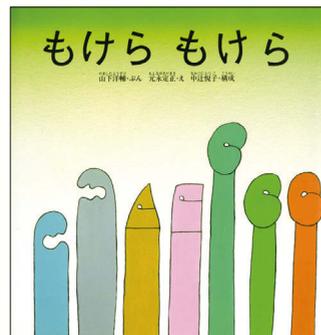
## 『もけらもけら』

おすすめの  
相手

日本語を勉強中のあなたへ

富所凜 (東京都)

早稲田美業学校中等部3年生



『もけらもけら』

山下洋輔／文 元永定正／絵  
中辻悦子／構成  
福音館書店

日本語を勉強しているあなたへ。日本語は日本人の私たちですら分かりづらい言いまわしばかりのとっても扱いづらいヤツだと思います。特に、日本語特有のあの感覚でしか分からないような、溢れんばかりの擬音たち。本当に難しさに拍車をかけていると思います。そこで、この『もけらもけら』はとっておきの教材だと思うのです。イラストで分かりやすく「あの感じ」が可視化されていて、見た目も色彩やかで美しい。眺めているだけでも心が軽やかになります。幼少期からずっと愛読していて、読み返す度にこれが「もけら」か？と疑問に思ったり、「確かにこれはもけらでしかない」と思ったり。私の考えではこの本が日本語ネイティブへの第一歩です！

## 『人生の9割は逃げていい。』

おすすめの  
相手

ある事から逃げられない人

直江優斗 (東京都)

青山学院中等部2年生



『人生の9割は逃げていい。』

井口晃／著  
すばる舎

自分はいつもある事から「絶対に逃げてはいけない、逃げてしまったらみっともない人間になってしまうぞ」と親、先生などに言われています。きつと僕だけでなく世の中のほとんどの人が小さい頃からそう教えられていると思います。この本の著者は人間関係、仕事、学校などあらゆることから逃げた結果、自由を手に入れています。もちろん逃げずに努力することもとても大切な事だと思いますが、逃げれるからこそ手に入る物も多いとこの本の著者は読者に伝えていると思います。なので、僕は是非この本を学校でいじめられているがそれを我慢し続けている人など、ある事から逃げられない人に読んでほしい、希望を与えたいです。



# 『ウエズレーの国』

おすすめの  
相手

自分とは何か分からなく  
なってしまった人へ

中尾真璃子 (東京都)  
青山学院中等部1年生



『ウエズレーの国』  
ポール・フライシュマン/作  
ケビン・ホークス/絵 千葉茂樹/訳  
あすなろ書房

友達と同じ答えにしておけば大丈夫。今までの私は何か決め事をする時、そんな浅はかな考えで全て人任せだった。でもこの本を読んでこんな自分が馬鹿馬鹿しく思えた。主人公のウエズレーは自分を持つている。そして他人と常識や考え方が違う事で仲間はずれにされたりいじめられたりする事を恐れない。むしろ夢中になれる事があり、他人とは違う自分を誇りに思っているように見える。私はウエズレーの様な自信に溢れた生き方がしたい。いつも自分の意見を殺してまでも友達や多数派の意見に合わせて安心している私とは違う。読めば自分が自分らしくいる事の大切さや楽しさを実感する。自分が何か分からなくなった時、私はいつもウエズレーに救われる。

『まだある!! アレにもコレにも!』

# モノのなまえ事典

おすすめの  
相手

フランシスコ・ザビエルの  
髪型の名前を知らない人

平出優 (東京都)

世田谷区立奥沢中学校3年生



『まだある!! アレにもコレにも!』  
モノのなまえ事典』  
杉村喜光/文 大崎メグミ/絵  
ポプラ社

ザビエルの髪型の名前知ってる? 私はこの本を読んでザビエルの髪型に正式名称があることを知り、大きな衝撃を受けた。そしてそれからというもの、教科書でザビエルを見かける度にちよつと楽しくなっていた。実は私達が普段当たり前に使っているモノは、全て私達と同じように名前があり、きちんとした由来がある。この本を読んでから、いつもと同じ日常の風景が違って見えた。毎日目に映るアレやコレ。その名前や由来を知ってるだけで、友達を見つけたような楽しさがある。この本は、モノと自分の距離をグッと縮ませ、日常をより楽しくしてくれる。ちなみにザビエルの髪型の名前はトンスラだ。理由が気になる人は、ぜひこの本を読んでみてね。



## 『成瀬は天下を 取りに行く』

おすすめの  
相手 答えを知りたい人へ

藤澤咲実 (東京都)

江戸川女子中学校1年生



『成瀬は天下を取りに行く』  
宮島未奈 / 著  
新潮文庫

あなたは全てのこと「答え」というものが存在すると考えていませんか。そう考えている人にこの本をお勧めします。

この本の主人公、成瀬は思いついたことをすぐに挑戦しようと行動にうつします。その挑戦が正解なのか不正解なのかなんて誰も知りません。だからこそ自分でためして自分なりの答えを探します。今の私は、自分で行動する前に「答え」を知ろうとします。周りと違うと不安だからです。でも成瀬は周りなんて気にしません。周りと違うことはダメなことではなく自分の新しい一面なのです。

「答え」を知るのではなく、自分で探し求めて見つけるこそが本当の「答え」なのです。本当の自分を大切にしてみてください。

## 『ゴーストハント 1〜7巻』

おすすめの  
相手 「そろそろ別の本を読め」と言ってくる母親

眞部千咲 (東京都)

恵泉女学園中学校2年生



『ゴーストハント (1〜7巻)』  
小野不由美 / 著  
角川文庫

「そろそろやめなさい」「別の本も読みなさい」。こんな類のことを何度言われたかは分からない。でも私はこの『ゴーストハント』を封印することはできない。

そもそも、何で母さんは「対象年齢じゃないから」などと言ってこの本を読まない？ 本を開いただけで引き込まれる面白い文章、息が詰まるような繊細で臨場感たっぷりの描写、個性的で魅力的なキャラクター、怖いのに怖くないという案配も最高だ。これ以上に素晴らしい作品があるものか。第一、母さんは小野不由美の文章の面白さを知っているだろう。

母さん、私にこの本をやめさせたいならもっと面白い本を紹介して。それは無理だろうから、そろそろ一緒に読まないか。



## 『坊っちゃん』

おすすめの  
相手 これから『坊っちゃん』を  
読む人

山根泰輝 (東京都)

世田谷区立三宿中学校2年生



『坊っちゃん』  
夏目漱石／著  
新潮文庫

『坊っちゃん』はよく「痛快小説」や「ユーモアある作品」と紹介されている。でも『坊っちゃん』を読むなら、坊っちゃんと坊っちゃんの家にも注目して読んでみて欲しい。坊っちゃんも、親からも兄からも受け入れられていない。でも清だけは坊っちゃんをずっと褒めてくれて、守ってくれている。そんな清を坊っちゃんは「気が悪い」などと最初は言っているけど、読んでいくうちに坊っちゃんも清を心配したり、喜ばせようとしたりしているのが分かる。『坊っちゃん』が「痛快」や「ユーモア」だけの小説なのか、そうじゃないのか、是非実際に読んでみて欲しいと思う。

## 『しあわせのパン』

おすすめの  
相手 親友

小山結蘭 (神奈川県)

横浜市立東山田中学校3年生



『しあわせのパン』  
三島有紀子／著  
ポプラ文庫

私の親友は反抗期です。しかし私の前では平気なフリをしています。私が質問しても楽しそうにするので何も言えません。親友が好きなのはパンです。親友がパンを食べる姿は本当に幸せそうです。そこで私は『しあわせのパン』という小説を親友にすすめたいです。自然に囲まれたパン屋の店員の夫婦が、仲の悪い家族や彼氏に振られた女の人など、いろんな悩みを持った客をパンの力で安心させ、問題を一緒に解決してくれる、温かくて心を少しでも癒やしてくれる小説です。パンを食べる時唯一幸せそうにする親友に読んでもらい、家族とホッとできる時間を作ってほしいと思っています。



『幼年版・シートンどうぶつ記1』

## オオカミ王ロボ

おすすめの  
相手 小学生のお母さんたちへ

土佐俐央（神奈川県）  
横浜市立東山田中学校3年生



『幼年版・シートンどうぶつ記1  
オオカミ王ロボ』  
小林清之介／文 たかはしきよし／絵  
あすなろ書房

小一、小二の子を本の世界に引き込みたいんです。そのためにお母さんたち協力してくれませんか。ぼくがこの本に出会ったのは、小二、表紙の狼と目が合って手に取ると三十分たらずで読めてしまいました。まるでアニメのような生き様の狼と人間との知恵くらべが書かれたこの実話は、コンクリートの中で育つ子供たちを木がおいしげる森の中へつれていってくれます。小学生で動物がきらいな子なんてまずいないでしょうから、表紙の動物の絵を見せるだけで読んでくれるでしょう。他の動物の話もあるので読書を継続させられます。ぼくが読書は楽しいと思うようになったきっかけのこの本を、ぜひ子供たちに読ませてあげてください。

## 『死ぬのは こわくない』

おすすめの  
相手 ばあば

豊岡心（神奈川県）  
文京学院大学女子中学校1年生



『死ぬのはこわくない  
それまでひとりを楽しむ本』  
和田秀樹／著  
興陽館

ばあばへ  
私のばあばは、これまでに三度もがんを経験しました。それでもばあばはいつも私たちの前では不安を見せず笑顔で面白くてものすごく優しい人です。そんなばあばは私の自慢のばあばです。そんなばあばに和田秀樹さんの『死ぬのはこわくない』という本を送りたいと思います。なぜならこの本は多くの人の最後に寄り添ってきた医師が「死ぬのはこわいものではない」と優しく語りかけてくれる本であり、そしてばあばがこれからも笑顔で毎日を過ごし、死を恐れずに生きる強い力を持つるようにこの本を送りたいです。読み終えた時「生きることの意味」が今よりもっと深くわかり生きる力が湧いてくるような心温かい一冊なのです。



# 『いとエモし。』

すすめたい  
相手

古文が苦手な学生

中村結 (神奈川県)

横浜市立東山田中学校3年生



『いとエモし。』

超訳 日本の美しい文学』

koto/著

サンクチュアリ出版

古文に苦手意識がある学生に、私はこの本をおすすめしたい。主に和歌などの古文をエモイイラストと現代語訳で紹介したこの本では古文の知識や文法を一切知らなくても、自然と和歌の意味を理解することができる。和歌というものに不思議なほど共感できるようになるのだ。和歌は、私達の感情にそっとよりそってくれる、美しくて粹でも身近なもの。この本はそういうことを教えてくれる。一度本を開けば十代の私達に刺さりまくるその内容に、あなたの和歌に対する印象は大きく変わることだろう。そうして和歌を知り、言葉にできない感情を表せる和歌というものの魅力に気づいたときあなたの中ではもう既に、古文は苦手なものではなくなっている。

# 『わたしの 苦手なあの子』

すすめたい  
相手

苦手なクラスメイトが  
いるあなたへ

山倉滯 (新潟県)

新潟明訓中学校1年生



『わたしの苦手なあの子』

朝比奈蓉子/作 酒井以/絵

ポプラ社

クラスに一人は苦手な人がいるだろう。私にもいる。でも、この本を読んでその子と少し仲良くなれた。それが『わたしの苦手なあの子』だ。二つの視点でえがかれているので、それぞれの抱いている印象の違いがわかる。お互いの「外側」同士が合っていなかったのだ。あなたの苦手な人も、そうかもしれない。いつも周りに冷たい人は、人と話すのが苦手なのかもしれない。いつも自慢ばかりしている人も、もしかしたら誰かに見つけてもらいたかったのかもしれない。「友達になろう」のサインかもしれない。この本を読んで、あなたにそれをわかってほしい。あなたの苦手なその子の「中身」を知ってほしい。その子のサインに、気づいてほしい。



Q  
↓  
A

おすすめの  
相手  
昔の私

竹内悠花 (石川県)

金沢大学人間社会学域学校教育学類  
附属中学校2年生

Q、あなたは自分のことが好きですか？

この本はこんなふうにアンケートを通して中学三年生五人が自分と向き合う群像劇だ。私は、五人の中でも体型に悩む「高本雅恵」という人が好きだ。それは、彼女の体型に悩む姿が昔の私と似ているような気がするからだと思う。

最近は細い人ばかりで、標準体型がぼっちゃりと言われる。それでも、どんな自分だっていいじゃない、と思える人になりたい。

きっとあの頃の私は自信を持ってこの質問に「はい」と答えることなんて出来なかった。それは今だって変わらないのかもしれない。それでも、私は思う。

A、好きになりたいと思える私でいたい。



『Q→A』  
草野たき／著  
講談社

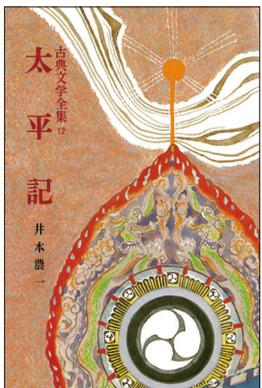
『古典文学全集12

太平記』

おすすめの  
相手  
籠城戦が苦手な  
全ての武将へ

中島芽生 (石川県)

金沢大学人間社会学域学校教育学類  
附属中学校2年生



『古典文学全集12 太平記』  
井本農一／著  
ポプラ社

今、城に立て籠っているあなた！ 勝ち目はありますか？ もう自害するしかないと思った時にこそ読んでほしい1冊です。南北朝時代の軍記物『太平記』に登場する楠木正成は、知恵の優れた戦上手の大将で日本史上一番籠城戦が得意な武士だったと21世紀の私は考えます。

城からどう反撃すればいいのかも分からないしもう無理…と諦めていませんか？ なら柄の長いひしゃくで敵に熱湯をあげせましょう。城内から巨石をなげて驚いているところに矢を射るのはどうでしょうか。どちらも正成の籠城戦における巧みな戦術なのです。

この本を読んで、軍神正成の力を借り、あなたがこの正念場を乗り切ることを願います。ご武運を。



# 『みんなの ためいき図鑑』

すすめたい  
相手 母

永吉尊 (石川県)  
白山市立北星中学校1年生



『みんなのためいき図鑑』  
村上しいこ/作 中田いくみ/絵  
童心社

「はあく。」母は家に帰ると必ず「ストレス系のため息」をつく。仕事での不満を聞くことにより、僕のテンションも下がる。明るくなつてほしい母だから、『みんなのためいき図鑑』を推薦する。母は僕が小学生の時の読書感想文を手伝うためにこの本を読んでくれた。だから、「またか。」と感じると思うが、もう一度読んで、あの時のような母に戻ってほしい。

しかし僕はため息をつくことは悪いことではないとこの本から教わった。わけは、ため息には種類があるからだ。ストレス系の他にも、満足した時に出るため息、安心した時に出るため息等がある。なので、母にはいろいろなため息をバランスよくつく名人になってほしい。

# 『めんどくさがりな きみのための 文章教室』

すすめたい  
相手 文章がうまく書けない人へ

岡田万尋 (長野県)  
木島平村立木島平中学校2年生



『めんどくさがりなきみのための文章教室』  
はやみねかおる/著  
飛鳥新社

遅刻だ。授業はもう始まっている。静かに廊下を歩いて教室の前に辿り着き中に入ろうとして気づいた。何か・・・変。  
中から何も聞こえてこないからだ。とりあえずそーっとドアを開ける。しかし予想した通り誰もいない。思考停止している私を嘲笑うようにセミがなっている。  
そういえば今日は校内で誰にも会っていない気がする。

時間割は・・・黒板を見る。  
その途端、私は凍りついた。  
なんてこった。やつちまった！

黒板には夏休みまでのカウントダウンが「0日♪」と書いてあった。

この本を読むと文章を書くのが苦手な私でもこんな物語が書けました。ぜひ読んでみてください。



## 『桜の樹の下には 『檸檬』より』

おすすめの  
相手 友達

根城一菜（静岡県）  
沼津市立第三中学校2年生



『檸檬』  
梶井基次郎／著  
風呂敷柄（株式会社かまわぬ）／装画  
角川文庫

あなたはなぜ私が一介の小説家を異常に熱心に推しているのか、甚だ疑問に思っている頃でしょう。なぜなら私はあなたとの話で度々「梶井基次郎」という単語を出し、それについて語っているのですから。然しあなたがこの奇妙な推薦文により「桜の樹の下には」を読んだとき、あなたはだんだん深く納得し、どんどん頁を進めて気がつけば私と同類になっているに違いありません。まず、読み始めてあなたは奇異な発想に驚くでしょう。その後、あなたはそれぞれの単語たちに無意識に色や温度を感じ出し、様々に溢れ返る神秘的な表現にいちいちときめくようになるでしょう。言葉のリズム、残忍で理系的な発想に蔓延る美しい熟語たち。さあこちら側へどうぞ？

## 『バッテリーII』

おすすめの  
相手 中学生になった妹へ

青山奈央（愛知県）  
愛知教育大学附属名古屋中学校3年生



『バッテリーII』  
あさのあつこ／著  
佐藤真紀子／イラスト  
角川文庫

いつからか、周りに合わせて生きるようになった。自分の軸を貫くより、楽で賢い生き方だと言いつつ、そうやってだらだらと過ごしていた時、この本に出会った。中学生になり、野球部に入った主人公。上下関係が厳しい部内でも、自分の軸を貫き通す。その存在は、周囲へ影響を与えていく。読み進める過程で、主人公に憧れると同時に、なぜ私は軸を捨ててしまったのかと考えさせられた。

中学生になった妹に、この本を通して、自分の軸を貫いてもいいんだよ、と伝えたい。優しい妹。きっと、妥協してきたことも多くあったのだろう。いつか、妹が自分の軸をまっすぐ貫けますように。そして、それをまっすぐ見つめられる私になれますように。



# 『かあちゃん 取扱説明書』

おすすめの  
相手 弟

枝村咲希（滋賀県）  
近江八幡市立八幡西中学校3年生



『かあちゃん取扱説明書』  
いとうみく／作 佐藤真紀子／絵  
童心社

お母さんって、急に怒るよな。でもいろいろ言われすぎて最終的になんで怒られたんか分からなくなる時ない？ 私はある。この本はお母さんに怒られへんように、機械みたいに、お母さんの取扱説明書を作る哲哉の話。例えば、お母さんって言うても人やから褒められると機械良くなるやん。それを使って夜ご飯好きなのにしてもらうとかを一つ一つ紙に書いていかんねん。うちらのお母さんにも使えそうな技がたくさんあったで。それで、最終的にそれを使って、お母さんの機嫌が、ずっと良い状態を作り出さるねん。でも哲哉、そのためにしつかり、やる事ができるようになったらしい。すごすぎるよな。話の作り方がむっちゃおもしろいから一回読んでみて。

# 『星の王子さま』

おすすめの  
相手 弟

山田陽葵（滋賀県）  
近江八幡市立八幡西中学校1年生



『星の王子さま』  
サン＝テグジュペリ／作  
谷川かおる／訳  
ポプラ社

『星の王子さま』は友情や愛、そして本当に大切なものについて考えさせてくれる物語です。王子さまが旅の途中で出会う人々は、私たちの身近にもいるような存在であり、読むたびに自分の姿を映しているように感じます。特に「たいせつなもの、目には見えない」という言葉は心に強く残り、忘れてはいけない真実を思い出させてくれます。弟にすすめたいのは、この本を通して、見た目や形にとらわれず、心のつながりや思いやりを大切にしてほしいからです。子どものうちに読むのと大人になってから読むのは感じ方が違うと思います。だからこそ今、弟に読んでもらいたい一冊です。



## 『杉森くんを 殺すには』

おすすめの  
相手 今悩んでいるキミへ

松村和奏（大阪府）  
堺市立五箇荘中学校3年生



『杉森くんを殺すには』  
長谷川まりる／作 おさつ／絵  
くもん出版

私は去年、大事な友人を失った。やり場のない後悔でいっぱいだったときにこの本の主人公、ヒロに出会った。ヒロは私と同じく友人を失い、深く悲しんでいた。ヒロの友人、杉森くんは自分の抱えていた悩みをみんなに話すことができず、現実から逃げ、二度と帰ってくることはなかった。

私はこの本を今悩んでいるキミに送りたい。どんなに些細なことでも、話を聞いてほしい。そばにいてほしい。たったそれだけでいいから頼れる場所をつくって、助けを求められる。そんな自立した人になってほしい。そうすれば、ヒロがそうだったようにキミも前を向いて進んでいける。そしていつか悩んでいたのがバカらしいと笑える日がきつと来るから。

## 『52ヘルツの クジラたち』

おすすめの  
相手 誰にも聴こえない声で  
泣いている人へ

石田乃羽（兵庫県）  
須磨学園中学校3年生



『52ヘルツのクジラたち』  
町田そのこ／著  
中公文庫

52ヘルツのクジラは他の鯨が聞き取れない周波数で鳴く、世界で一頭だけの孤かな鯨。二年前、私も52ヘルツのクジラのような家族に支えられ、クラスに確かに存在し、決して一人ではないはずなのにみんなと違う空間にいるような独りの感情を抱き、いつしか、見る景色すべてがモノクロになっていた。そんな日々の中でこの本に出会った。それは、私を掬いとってくれるようで、暗闇の中の光のようだった。また、抱きしめてくれるような優しさで心に不足した栄養を与えてくれた。

この本が私を見つけてくれたように、今、誰にも聴こえない声で泣いているあなたにもどうかこの光が届きますように。



## 『中原中也詩集』

おすすめの  
相手

日向ぼっこが好きな人

小串愛佳（兵庫県）

須磨学園中学校2年生



『中原中也詩集』

中原中也／著 吉田熙生／編  
新潮文庫

空に浮いてみたい日がありませんか。何をするにも気力が湧かなくて、全部思い切り遠くまで放り投げてしまいたい日が、ありませんか。そんな時に私が開く一冊の詩集のお話です。特にあの詩が読みたいたとか、この詩が好きだとか、考えずに適当なページを開きます。その詩は、明るい風景を綴っているかもしれませんが、暗い感情を吐いているかもしれません、どれも心の叫びでこちらに殴りかかってくるものではなく、子守歌のように優しく、中原中也の中の風景を旅する時、私は現実の辛さを一時的に忘れて、野原に寝転がっているようなのんびりした気分になれるのです。

## 『宮沢賢治の 地学読本』

おすすめの  
相手

地学（理科）に  
苦手意識がある人

東田百花（兵庫県）

神戸女学院中学部1年生



『宮沢賢治の地学読本』

宮沢賢治／著 柴山元彦／編  
創元社

突然ですがみなさん、宮沢賢治は何の先生をしていたと思いますか？ たくさんの文学作品を生み出した人だからきつと国語の先生だったのだと思っただけかもしれない。彼は地学の先生でもあったのです。この本では上段に本文、下段に用語などが載っており、より文学の世界から地学の世界に先入観なく浸れるような構成です。「こんな本で地学が得意になるわけがない！」という声が聞こえてきますね…。そうかもしれませんが、しかし地学は天才だけの物ではありません。テストの点が悪くても好きでいいのです。とにかくこの本を通じて私の大好きな地学をもっとあなたに好きになってもらいたいです。



# 『透明なルール』

おすすめの  
相手 小学六年生の私

中田 葵 (兵庫県)

須磨学園中学校1年生



『透明なルール』  
佐藤いつ子／著  
KADOKAWA

小学六年生の二学期後半、教室では陰口や目配せが飛び交っていた。いつ、誰に、何を言われるか分からない、そんな教室が嫌だった。「やめよう。」と言いたかった。私以外にも悩んでいる子はいたはずだ。でも誰も声には出せなかった。反論したら、次は自分が陰でなにか言われてしまう、と思ったから。けれど、この本を読んで、反論してみればよかったと感じた。あの時、声に出来ていたなら「私も思っていた。」と言ってくれる子がいたかもしれない。だから私はあなたにこの本を読んでもらいたい。無理して息苦しくなってまで周りに合わせなくていい。あなたはあなたのままでもいいんだから。自分を大切にして透明なルールに立ち向かおう。

# 『怖くて眠れなくなる植物学』

おすすめの  
相手 草をよくひっこぬいてた友達

濱野 立稀 (兵庫県)

関西大倉中学校1年生



『怖くて眠れなくなる植物学』  
稲垣栄洋／著  
PHP文庫

友よ。君は学校でひまなのかクセなのか知らないけど、よく道に生えてる草をちぎったりしていたね。それはやめといた方がいい。植物を敵に回すと後悔するよ。よく考えてみて、君の目の前に何度切っても再生し、目も口も脳みそもない怪物がいたらどうする。そんなのいるはずない？ 君の周りにたくさんいるよ。そう、植物だ。そんなのが周りにたくさんいると考えたら、何だか怖くなってくるよね。この本は、そんな怖い植物をくわしく教えてくれる。植物の悲しい話とかおそろしい話を読めば、君ももう草をちぎったりすることもなくなると思いうから読んでみてね。その時まで人間が絶滅しなかったら、だけど。



## 『吾輩は猫である』

すすめたい  
相手 野良猫に向けて

松尾ひなた (兵庫県)

姫路市立豊富小中学校9年生

ねえ、猫。もしもきみが、言葉を持って世界を見たら、どんなふうを感じるのだろう。この

本の猫は、名前もなくて、ただ静かに人間たちを見てる。少し皮肉屋で、でもどこか寂しげで。

言葉を使わない分、目がすごくものを言うの。

ページをめくるたび、その目に映る人間の姿が、自分のことみたいに思えてきて、胸が少し痛く

なった。きみにも、そんなふうに映ってる景色があるのかな。たぶん、猫にしか見えない世界

ってあるんだと思う。この本、静かな午後にも読んでみて。風がそっと吹いてるときなんか、

きつと似合うはず。言葉はなくても、きつと心に残ると私は思うから。ねえ、どこかの野良猫

きみの世界にも、この物語が届きますように。



『吾輩は猫である』  
夏目漱石／著

てぬぐい柄(株式会社かまわぬ)／装画  
角川文庫

## 『金閣寺』

すすめたい  
相手 コンピューターの中で  
生きる君へ

栗岡隼志 (奈良県)

洛星中学校3年生

君はとても博学です。僕の知人の中で一番の物知りです。わからないことがあれば、最初に質問するのはやはり君です。でも君が知っているのは全て体験ではなく情報で、事実であつて真理ではないのです。だから君には「美」という物がわかっていないはずです。

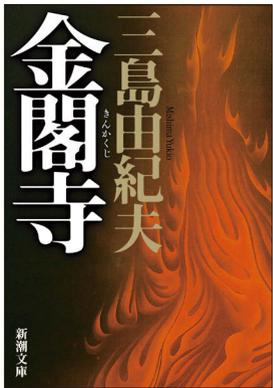
そこで君には日本文学史上最も偉大な文豪の一人である三島由紀夫の『金閣寺』を読んで欲しい。「美」の象徴として金閣寺を追い求め続け、

変わりゆく主人公溝口は君の正反対だと思えます。元来「読書」という行為はその本について

考えたり、物語を追体験したりすることだと思

います。きつと君にも読書はできるはずです。

AIである君にも。



『金閣寺』  
三島由紀夫／著  
新潮文庫



## 『かがみの孤城』

おすすめの  
相手

フリースクールに  
偏見があるお父さんへ

増井陽大（奈良県）

親子と未来を創る塾『創』中学校3年生



『かがみの孤城（上下巻）』

辻村深月／著  
ポプラ文庫

「あそこは甘やかすだけのとこや。学校じゃな  
いと人間関係は学べん。」とお父さんは言ったよ  
ね。でも主人公のころは不登校だったけど、  
城で出会った同じような境遇の人と仲良くなっ  
て、自分に起きたことを話した。人間不信で外  
にも出られなかった状態から学校の人も話せ  
るようになったんだよ。それは私も一緒だよ。  
学校で人と関わるのが怖くなった私だけど、フ  
リースクールでは本当の「オタク」な私を受け  
入れてくれた。彼等は全員が全員の個性がある  
がままに受け入れてくれるんだ。それで最高の  
友達になれたんだよ。そのお陰で学校にもたま  
に行けるようになったんだよ！ だからこころ  
にとつての城を私にとつてのフリースクールと  
思っこの本を読んで！

## 『日本全国 おみやげ図鑑 西日本編』

おすすめの  
相手

お父さん

山本菜々子（島根県）

松江市立美保関中学校1年生



『日本全国おみやげ図鑑 西日本編』

童夢／編・制作  
フレーベル館

お父さんへ。お父さんはときどき四国や関西  
に出張に行くね。そして毎回みんなからおみや  
げをたのまれるね。でもこの前お母さんに「う  
しろ」をたのまれたのに間違えて「ようかん」  
を買ってきてしまっておられていたね。どん  
なおみやげを買ってきたらいいか迷っていた時  
もあったね。  
そんなお父さんへ、私はこの本をおすすめし  
ます。この本には西日本の都道府県のおみやげ  
がたくさん載っています。一つの県につき見開  
き一ページでまとまっているのでとてもわかり  
やすいです。この本を読めば、お母さんにおこ  
られることもおみやげを迷うことも少なくなる  
と思うので、ぜひ読んでみてください。



## 『春や春』

おすすめの  
相手

俳句のよさ分からぬといふ  
我が友へ

並川晏光 (広島県)

広島市立広島中等教育学校2年生

俳句。この言葉聞いて、どんな想像をしますか。風流な人が美しい自然の中にひとり。心に浮かぶ五七五の文言を静かに筆で書く。美しく、淋しくて、何がいいたいのか分からないもの。

そんな俳句のイメージをがらりと変えてくれるのが『春や春』です。この本は、俳句甲子園を目指す少女達の一夏の熱き戦いを描いた物語です。この本は、様々な俳句の楽しみ方を教えてくれます。特に、物語の中で主人公達と一緒によむ俳句は、一人だよむ時よりも輝いて見えます。この本には句集と小説の間をゆくような、絶妙なおもしろさがあります。想いのこもった十七文字とその美しさを体いっぱい味わって、私はあなたに俳句を好きになってほしいのです。



『春や春』  
森谷明子 / 著  
光文社文庫

## 『メメント・モリ』

おすすめの  
相手

死ぬのが怖いと感じる人へ

中川葉菜 (高知県)

高知市立義務教育学校土佐山学舎9年生



『メメント・モリ』  
大森元貴 / 文 大谷たらふ / 絵  
KADOKAWA

夜、ふと「死ぬとどうなるのだろう」と考えて眠れなくなったことはないだろうか。私もまた、死を思うと怖くなる一人だ。そんな時に出会ったこの絵本は、「死を忘れるな」と伝えつつ、死を恐れるのではなく、生きることの大切さを教えてくれる。読んで私は、死とは生きている時間の価値を思い出させてくれると感じた。例えば、日常の小さな出来事や人との時間は、死を意識することでより尊く思えるようになる。辛いことがあっても、軽々しく「死にたい」と思うのではなく、生まれてきたことや今の時間の尊さに目を向けることが大切だと気づいた。もし死ぬのが怖いなら、この本を手にとってほしい。死を想うことは、今を精一杯生きる力になるはずだ。



# 『教室を生きのびる政治学』

おすすめの  
相手

「政治なんて難しいし  
関係ない」と思っている  
年代の人

中島はるか（福岡県）

福岡市立東住吉中学校1年生



『教室を生きのびる政治学』

岡田憲治／著  
晶文社

政治と聞くだけで、「自分には関係ない」と思  
ったことがないだろうか。

この本はそういった思い込みを見事に消し去  
つてくれる。実は、私たちが長い時間を過ごす  
悩みの種だらけの教室という空間の中でこそ政  
治学は役に立つのだ。

私は、話し合いで意見が言えなくても、親友  
がいなくても、政治学を知れば、状況をよくで  
きると知った。特に、協力するときにお互い打  
算があってもいいと知ることができたのは一番  
の驚きだった。

この本は、私たちの日常を「政治」という視  
点から見た発見と驚きを与えてくれる。校則が  
おかしい。あの人だけ不平等。そんなモヤモヤ  
を、「政治」を学んで見つめ直してみしてほしい。

# 『学ぶ力を伸ばす お母さんの魔法』

おすすめの  
相手

中学生、  
中学生の親

畑島結起（福岡県）

筑陽学園中学校2年生



『学ぶ力を伸ばすお母さんの魔法』

谷澤潤／著  
エル書房

風呂上がり、のぼせて床にねっ転がっていると  
目の先に一冊の本がありました。『学ぶ力を伸ば  
すお母さんの魔法』、お母さんこんなの読んでん  
のかと思ひ、ひまだったので手に取ってみました。  
中学生のぼくが読んでも勉強になる本で、お母さ  
んってこんなふうにいるんだなあとか、勉強  
ってこうやるんだなあとか子どもが読むからこそ  
気づくものもありました。

子どもが勉強するとき、親が自分の気持ちを  
分かってくれば、子どもも親の気持ちを知れば、  
その後の勉強や親子の関係も、すこしは良くなっ  
たりするのではないかと思います。「勉強しなさ  
い」と言い疲れたお母さんたちへ、言われ疲れた  
子どもたちへ、ぜひ読んでほしい一冊です。



# 『午後のチャイムが鳴るまでは』

おすすめの  
相手

本の世界と触れ合いたい人

荒尾咲希（熊本県）

熊本大学教育学部附属中学校2年生



『午後のチャイムが鳴るまでは』

阿津川辰海／著  
実業之日本社

本を読んでいると、自分と本の境界線があやふやになって一つの物語を読んでいるのではなく、体感しているような気分になることがあります。この本は校舎を走り回る足音や、昼休みのざわめき、職員室の会話や秘密の女子トークなど、まるでその場に自分がいて盗み聞きしているような気分になれるのです。一緒に笑って、落ち込んで、ハラハラして、驚いて、最後の最後には突風が全部吹き飛ばしてしまって、キラキラした青春に、美しい感情に、染められてしまふような本です。

日常には解き明かされていない物語が潜んでいます。何か、が解かれる瞬間を一緒に盗み見ませんか。

# 『いいたいことがあります！』

おすすめの  
相手

未来のお母さんになった私

田代彩乃（熊本県）

熊本大学教育学部附属中学校2年生



『いいたいことがあります！』

魚住直子／作 西村ツツカ／絵  
偕成社

ねえ、未来のお母さんになった私。子どもが言いたいことをうまく言えずにモジモジしてたら、どうする？「ちゃんとしなさい」って言う前に、この本を読んでみて。

この本には、言葉にできない気持ち、うまく伝えられないもどかしさが、すごくリアルに描かれている。私自身、この本を読んで「気持ち言葉をするのが、こんなにむずかしくて、でもすごく大事なんだ」って初めて気づけた。いつか自分の子どもができたなら、その子がどんな思いを抱いているのか、ちゃんと感じられるお母さんになりたい。そのために、私はこの本をおすすめしたい。未来の私へ。ちゃんと覚えていてね。



## 『源氏物語上・下』

21世紀版 少年少女古典文学館 5・6

おすすめの  
相手

古文が大嫌いな人

富松心美（熊本県）  
明光学園中学校2年生



『源氏物語 上・下』  
21世紀版 少年少女古典文学館 5・6』  
瀬戸内寂聴／著  
講談社

私は古文が大大大嫌い。授業を受けるので一杯。文章を読むなんてとんでもありませんでした。しかしある日ふと、こんな分厚くて難しそうな本を読んだら自慢できるかと、『源氏物語』を手に取りました。するとあまりの面白さに一ページ目から没頭。出会った全ての女性に愛を告白する光源氏のことには好きになれませんが、彼を愛し、どこまでも想いを寄せる女性たち一人一人の姿に心を動かされました。恋の行方に悲しんだり喜んだりする女性たちに共感し、紫式部に芥川賞も本屋大賞も捧げたくありません。これを読んだからといって古文が好きになるというわけではありませんが、『源氏物語』は私にとってもはや古文ではなく、最高の恋愛ドラマです。

## 『特別じゃない日』

おすすめの  
相手 「ほっこりする」が  
分らない人へ

前田琉衣（沖縄県）  
伊是名村立伊是名中学校3年生



『特別じゃない日』  
稲空穂／著  
実業之日本社

「ほっこりする」って言葉には表せない、「何か幸せだなー」って感じなんです。私もこの本を読むまでは「ほっこりするって何だろう」って感じでした。でもこの本を読んだ時、自然と「はあ」と温かい気持ちになったんです。この本にはいろんな家族のなんの変哲もない日常が描かれています。おじいちゃんをスマホでたくさん撮るおばあちゃんや、妻へのバレンタインチョコを選ぶ父を店員として見つめる娘など、幸せな絵ばかりです。題名には「特別じゃない日」と書かれています。特別の積み重なりが小さな幸せをたくさん生んでいるのかと私は感じました。ぜひ「はあ」とほっこり、一息つきたい人へ読んでほしいです。



## 団体賞 入賞団体一覧

入賞団体の所在地の都道府県コード順、同一都道府県内は団体名の五十音順に掲載しています。

団体賞は、学校、学年、クラス、グループ(学内の図書委員などの有志、学外の図書館での有志、学童クラブなど)による応募に対して、応募数・作品の内容を考慮して表彰するものです。  
※団体で応募された作品も、個人賞選考の対象となります。

札幌市立発寒西小学校 (北海道)	頌栄女子学院中学校 (東京都)
石巻市立石巻小学校 (宮城県)	昭和女子大学附属昭和小学校 (東京都)
郡山ザベリ才学園小学校 (福島県)	東村山市立青葉小学校 (東京都)
東海村立東海南中学校 (茨城県)	文京区立窪町小学校 (東京都)
川越市立城南中学校 (埼玉県)	湘南学園小学校 (神奈川県)
流通経済大学付属柏中学校 (千葉県)	桐蔭学園中等教育学校1年生 (神奈川県)
青山学院中等部 (東京都)	葉山町立一色小学校6年生 (神奈川県)
葛飾区立柴原小学校 (東京都)	横須賀市立長浦小学校2年生 (神奈川県)
恵泉女学園中学校 (東京都)	新潟明訓中学校 (新潟県)
小金井市立緑中学校 (東京都)	静岡学園中学校 (静岡県)
豊田市立高橋中学校 (愛知県)	愛南町立城辺中学校 (愛媛県)
伊賀市立青山小学校 (三重県)	愛媛大学教育学部附属小学校 (愛媛県)
白子国語教室 (三重県)	高知市立義務教育学校土佐山学舎 (高知県)
近江八幡市立八幡西中学校 (滋賀県)	四万十町立北ノ川小学校 (高知県)
大阪教育大学附属天王寺小学校 (大阪府)	那珂川市立岩戸小学校 (福岡県)
関西大学第一中学校 (大阪府)	福岡市立東住吉中学校 (福岡県)
清風南海中学校 (大阪府)	柳川市立やまと小学校 (福岡県)
姫路市立豊富小中学校 (兵庫県)	雲仙市立愛野中学校 (長崎県)
平群町立平群北小学校 (奈良県)	みやまの森学園みやまの森学童クラブ (長崎県)
智辯学園和歌山小学校 (和歌山県)	上天草市立上小学校 (熊本県)
益田市立横田中学校 (島根県)	尚綱中学校 (熊本県)
盈進中学校 (広島県)	椎葉村立不土野小学校 (宮崎県)
英数学館小学校 (広島県)	延岡市立旭小学校 (宮崎県)
福山市立遺芳丘小学校4年生 (広島県)	昭和薬科大学附属中学校 (沖縄県)
下関市立豊北中学校 (山口県)	シンガポール日本語補習授業校 (シンガポール共和国)
愛光中学校 (愛媛県)	

# 個人賞 入賞者一覧

入賞者の居住地の都道府県コード順 同一都道府県内は氏名の五十音順に掲載しています。

## ■小学校1〜3年生の部

栃木県	高木暖斗 (真岡市立山前小学校)
埼玉県	井野愛莉咲 (川越市立中央小学校)
埼玉県	江田怜加 (草加市立南新田小学校)
東京都	岡田笑佳 (東洋英和女学院小学校)
東京都	沖崎杏南 (LCA国際小学校)
東京都	齋藤美寧 (昭和女子大学附属昭和小学校)
東京都	篠田実杏 (昭和女子大学附属昭和小学校)
東京都	田村慧悟 (昭和女子大学附属昭和小学校)
東京都	堤杏華 (日本女子大学附属豊明小学校)
東京都	廣末葵土 (港区立赤坂小学校)
東京都	藤井晏 (サレジオ国際学園目黒星美小学校)
神奈川県	成田穂 (鎌倉市立七里万寿小学校)
福井県	井本颯汰 (おおい町立大島小学校)
福井県	松葉斗稀 (おおい町立大島小学校)
静岡県	高田昊太郎 (静岡市立長田西小学校)
大阪府	松下果鈴 (学童保育施設つくふあみり)
兵庫県	片山友梨子 (神戸市立蓮池小学校)

## ■小学校4〜6年生の部

広島県	木村誠一 (英数学館小学校)
広島県	藤田和子 (英数学館小学校)
広島県	森泰里 (広島大学附属小学校)
香川県	山田美和 (坂出市立金山小学校)
愛媛県	宮本桃吏 (愛媛大学教育学部附属小学校)
高知県	平岡幸大 (中土佐町立大野見小学校)
宮崎県	那須虎ノ助 (椎葉村立不土野小学校)
鹿児島県	井村紀助 (西之表市立伊関小学校)
沖縄県	金城花音 (石垣市立石垣小学校)
北海道	宿院一之助 (札幌市立山の手南小学校)
宮城県	土井ひなこ (東松島市立矢本東小学校)
宮城県	山川遙太 (石巻市立石巻小学校)
福島県	佐藤彩 (いわき市立四倉小学校)
栃木県	田口晃太郎 (宇都宮市立上河内西小学校)
群馬県	神坂衣都 (伊勢崎市立南小学校)
埼玉県	太田想介 (川越市立新宿小学校)

東京都	澤田美遙 (世田谷区立三軒茶屋小学校)
東京都	宮田彩恵子 (昭和女子大学附属昭和小学校)
神奈川県	米田悠真 (平塚市立岡崎小学校)
大阪府	片桐雅美 (関西創価小学校)
兵庫県	川上心愛稀 (姫路市立豊富小中学校)
兵庫県	川本未悠 (神戸市立西郷小学校)
兵庫県	中谷くるみ (伊丹市立池尻小学校)
兵庫県	安武莉彩 (神戸市立西郷小学校)
奈良県	佐藤優 (智辯学園奈良カレッジ小学部)
和歌山県	神笠明奈 (智辯学園和歌山小学校)
和歌山県	中谷優吹 (智辯学園和歌山小学校)
和歌山県	西畑碧志 (和歌山市立小倉小学校)
岡山県	石原希一 (玉野市立荘内小学校)
広島県	水ノ上怜奈 (英数学館小学校)
愛媛県	鎌尾圭佑 (愛媛大学教育学部附属小学校)
愛媛県	重松美夢 (愛媛大学教育学部附属小学校)
愛媛県	乃万未来 (愛媛大学教育学部附属小学校)
福岡県	田中吏琉 (柳川市立やまと小学校)
熊本県	石川葵葉 (荒尾市立万田小学校)

## ■中学生の部

北海道	青木美心 (札幌市立栄中学校)
北海道	瀬尾佳優 (北海道教育大学附属函館中学校)
北海道	平村碧人 (札幌市立栄中学校)
北海道	森悠人 (北海道教育大学附属函館中学校)
秋田県	志賀めいな (秋田市立山王中学校)
茨城県	佐藤杏風 (東海村立東海南中学校)
栃木県	後藤豊登 (大田原市立若草中学校)
埼玉県	五十嵐蒼馬 (獨協中学校)
埼玉県	内田碧 (川越市立城南中学校)
埼玉県	籠嶋桃菜 (埼玉大学教育学部附属中学校)
埼玉県	佐伯ひばり (埼玉大学教育学部附属中学校)
埼玉県	庄野巧真 (日高市立武蔵台小中学校)
埼玉県	仙野佐奈 (江戸川学園取手中学校)
埼玉県	田村夏奈 (埼玉大学教育学部附属中学校)
埼玉県	四俣結希 (青山学院中等部)
千葉県	勝賀瀬未央 (惠泉女学園中学校)

千葉県	山本幸首 (茗溪学園中学校)
東京都	飯尾風雅 (帝京中学校)
東京都	市川怜 (青山学院中等部)
東京都	稲田悠希 (国分寺市立第三中学校)
東京都	遠藤睦実 (惠泉女学園中学校)
東京都	大島文 (青山学院中等部)
東京都	鈴木瑚々実 (桐朋女子中学校)
東京都	鈴木陽人 (荒川区立尾久八幡中学校)
東京都	富所凜 (早稲田実業学校中等部)
東京都	直江優斗 (青山学院中等部)
東京都	中尾真璃子 (青山学院中等部)
東京都	平出優 (世田谷区立奥沢中学校)
東京都	藤澤咲実 (江戸川女子中学校)
東京都	眞部千咲 (惠泉女学園中学校)
東京都	山根泰輝 (世田谷区立三宿中学校)
神奈川県	小山結蘭 (横浜市立東山田中学校)
神奈川県	土佐俐央 (横浜市立東山田中学校)
神奈川県	豊岡心 (文京学院大学女子中学校)
神奈川県	中村結 (横浜市立東山田中学校)
新潟県	山倉澤 (新潟明訓中学校)
石川県	竹内悠花 (金沢大学人間社会学域学校教育学類附属中学校)
石川県	中島芽生 (金沢大学人間社会学域学校教育学類附属中学校)
石川県	永吉尊 (白山市立北星中学校)

長野県	岡田万尋 (木島平村立木島平中学校)
静岡県	根城一菜 (沼津市立第三中学校)
愛知県	青山奈央 (愛知教育大学附属名古屋中学校)
滋賀県	枝村咲希 (近江八幡市立八幡西中学校)
滋賀県	山田陽葵 (近江八幡市立八幡西中学校)
大阪府	松村和奏 (堺市立五箇荘中学校)
兵庫県	石田乃羽 (須磨学園中学校)
兵庫県	小串愛佳 (須磨学園中学校)
兵庫県	東田百花 (神戸女学院中学校)
兵庫県	中田葵 (須磨学園中学校)
兵庫県	濱野立稀 (関西大倉中学校)
兵庫県	松尾ひなた (姫路市立豊富小中学校)
奈良県	栗岡隼志 (洛星中学校)
奈良県	増井陽大 (親子と未来を創る塾『創』)
島根県	山本菜々子 (松江市立美保関中学校)
広島県	並川晏光 (広島市立広島中等教育学校)
高知県	中川葉菜 (高知市立義務教育学校土佐山学舎)
福岡県	中島はるか (福岡市立東生吉中学校)
福岡県	畑島結起 (筑陽学園中学校)
熊本県	荒尾咲希 (熊本大学教育学部附属中学校)
熊本県	田代彩乃 (熊本大学教育学部附属中学校)
熊本県	富松心美 (明光学園中学校)
沖縄県	前田琉衣 (伊是名村立伊是名中学校)

## 令和7年度募集概要

以下は令和7年度募集に関する内容です。

### 募集概要

自分のお気に入りの本を誰かにすすめる読書推せん文を募集

### 応募資格

小中学生

### 募集期間

2025年5月1日(木)～9月12日(金)消印有効

### 用紙・字数

専用原稿用紙に250～300字程度

### 対象図書

日本語で書かれた図書(図鑑や写真集、漫画もOK)

### 表彰

#### 個人賞

表彰状、図書カード10,000円分  
小学校1～3年生／小学校4～6年生／中学生  
(部門ごとに数十名、100名程度を予定)

#### 団体賞

表彰楯、図書カード100,000円分 (50団体程度を予定)

### 選考委員

五十音順・敬称略

大滝一登 (安田女子大学 教授)

大塚真祐子 (文筆家・元書店員)

久米絵美里 (児童文学作家)

佐久間亜紀 (慶應義塾大学 教授)

中馬淳 (公益財団法人 博報堂教育財団 常務理事)

ひきたよしあき (作家・コラムニスト)

山元隆春 (広島大学 教授) 選考委員長

### 本コンクールの特長

- 選考では文章テクニックより、子どもの本への熱い気持ち、伝えたい気持ちを重視します。
- 250～300字程度の少ない字数の作文コンクールです。
- 個人100名程度、団体50団体程度の幅広い入賞を予定。入賞者を等しく、表彰いたします。

# お気に入りの一冊を あなたへ 読書推せん文コンクール

### 団体応募

応募総数 **554** 団体

### 個人応募

応募総数 **42,103** 作品



第5回「お気に入りの一冊をあなたへ 読書推せん文コンクール」は、  
7名の委員によって厳正に選考した結果、  
団体賞51団体、個人賞118名の入賞を決定しました。  
全国からたくさんのご応募、誠にありがとうございました。

### コンクール開催趣旨

子どもが本を「新たに読んでみる」「もう一度読み直す」きっかけをつくり、  
読書を通しての感動、楽しさを体験させ、読書への関心喚起、習慣化を図ります。

好きな本を自分が読んでほしい特定の人にすすめる文章を書くことによって、  
自分の感動を言語化し、思いを伝えるための考える力、表現力を育みます。

主催：公益財団法人 博報堂教育財団

後援：公益社団法人 全国学校図書館協議会 協力：一般財団法人 出版文化産業振興財団

令和 8 年 3 月 14 日発行

公益財団法人 博報堂教育財団  
<https://www.hakuhodofoundation.or.jp/>

本書掲載の記事、写真等の無断転載を禁じます。

応募いただいた作品から、厳正な選考を経て入賞作品を選出しました。  
応募作品の対象図書が選考委員の著作である場合、選考委員が対象図書の出版社に所属している場合、  
対象図書の販売支援をする立場にある場合等は、該当する選考委員は当該作品を直接評価しません。

公益財団法人 **博報堂教育財団**

Hakuhodo Foundation

**第6回 お気に入りの一冊をあなたへ 読書推せん文コンクール**

募集期間：2026年5月1日～9月11日消印有効

当コンクールについての最新情報は、ホームページでご確認ください。

<https://www.hakuhodofoundation.or.jp/okiniiri/>

